

令和元年度 大阪府ニーズ調査の概要について

令和元年8月1日

1. 令和元年度に実施した大阪府におけるニーズ調査について

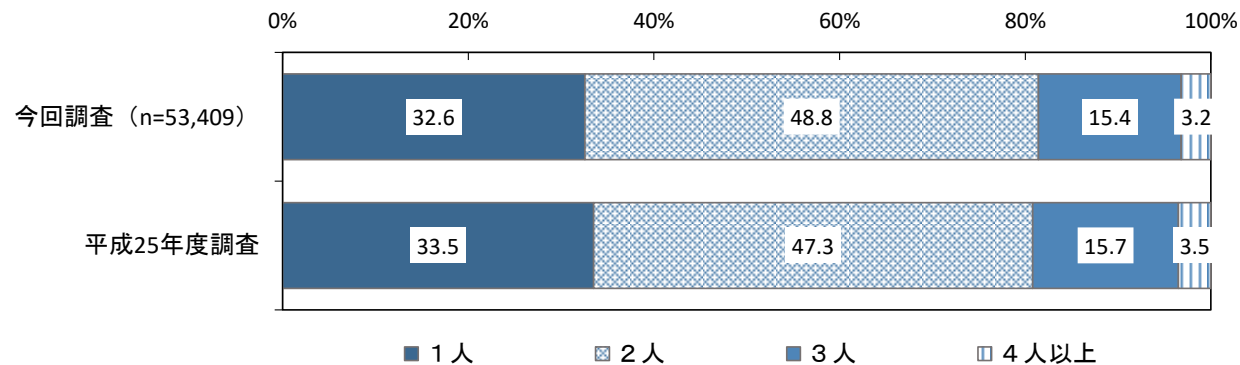
調査名	内容	対象等	手法・時期
市町村ニーズ調査 (府内市町村実施) <u>p.3~p.12</u>	子ども・子育て支援新制度に基づく市町村事業計画策定のために、就学前の子どもの教育・保育、地域子ども・子育て支援事業の必要量等について調査した。	就学前の子どもをもつ保護者 ・府内43市町村(政令市・中核市を含む) ・配付数 117,124人 ・有効回答数 58,027人 (回収率49.5%) ※ R1.7/15時点で府に報告のあった38市町村分データ	郵送調査 平成30年10月～ 平成31年3月実施
家庭の養育力について の実態調査 (大阪府実施) <u>p.13~p.22</u> ※郵送調査については、R1.7/2 時点で府に回答があったデータ	子どもへのしつけや子どもの生活習慣といった家庭の養育力に関する一般的な保護者の意識について、就学前の子どもをもつ保護者及びその保護者を支援する施設等を対象に調査した。	就学前の子どもをもつ保護者 ・サンプル数 大阪府内 2,100人 他都道府県 900人	インターネット調査 令和元年6月実施
		就学後から18歳までの子どもをもつ保護者 ・サンプル数 大阪府内 1,200人	インターネット調査 令和元年6月実施
		府内の保育所・幼稚園(公立・私立)及び地域子育て支援拠点 ・配付数 2,564か所 ・回収数 1,372か所 (回収率53.5%)	郵送調査 令和元年6月実施
保育士等確保のための 調査 (大阪府実施) <u>p.23~p.37</u> ※郵送調査については、R1.7/2 時点で府に回答があったデータ	待機児童解消のための保育所等整備が進む中、保育士等の確保が重要であり、また、保育士等の確保は、子ども・子育て支援新制度のもと、都道府県の役割とされていることから、保育所・幼稚園の保育士等確保の状況について調査した。	府内の保育所・幼稚園(私立) ・配付数 1,513か所 ・回収数 792か所 (回収率52.3%)	郵送調査 令和元年6月実施
		府内の保育士養成施設 ・配付数 49か所 ・回収数 30か所 (回収率61.2%)	郵送調査 令和元年6月実施
		保育士資格等取得見込者 (府内保育士養成施設在籍者) ・配付数 1,000人 ・回収数 446人 (回収率44.6%)	郵送調査 令和元年6月実施
		大阪府登録の潜在保育士 ・配付数 1,859人 ・回収数 759人 (回収率40.8%)	郵送調査 令和元年6月実施

※回答は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合がある。

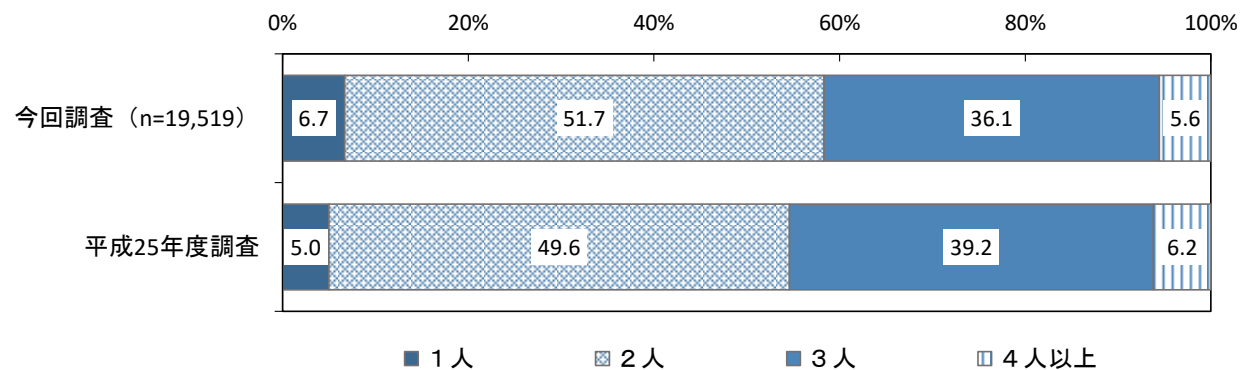
2-1. (市町村ニーズ調査) 子どもの数

● 実際の子どもの数と希望する子どもの数に違いがある。

① 実際の子どもの数



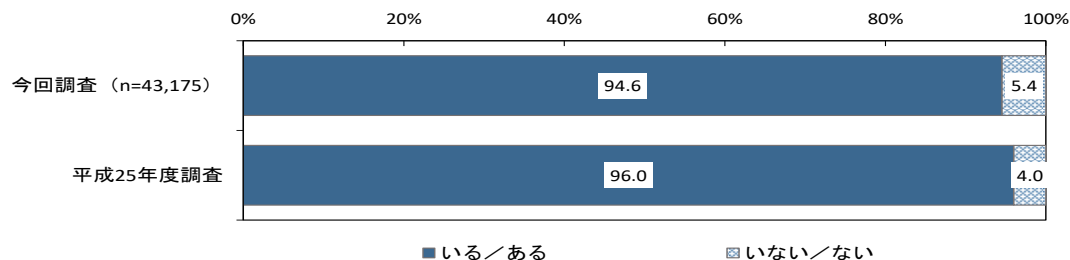
② 希望する子どもの数



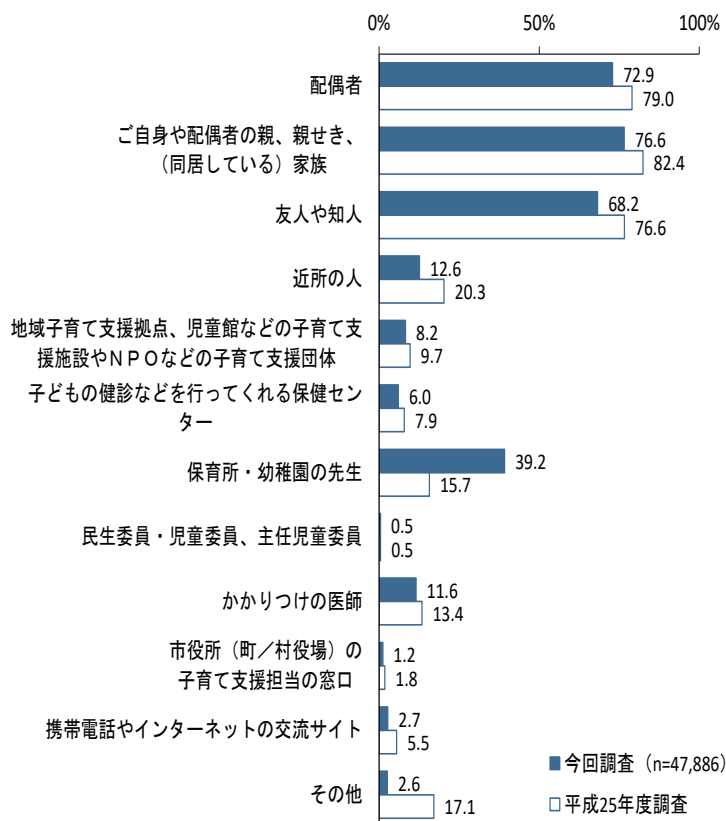
2-2. (市町村ニーズ調査) 子育ての相談先

● 子育ての相談先があると答えた人が9割以上おり、相談先としては、前回から変わらず親族、配偶者、友人・知人の順に多い。また、幼稚園・保育所の先生が増加している。

① 相談先の有無



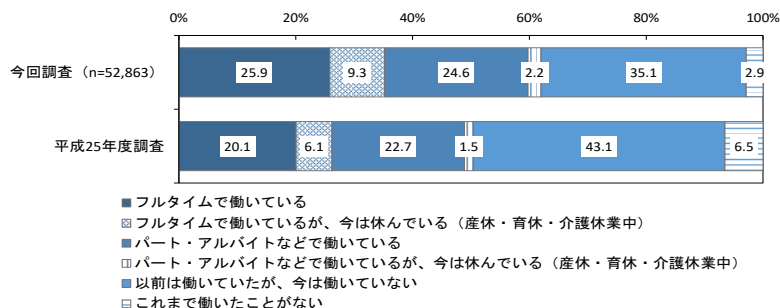
② 相談先 (複数回答)



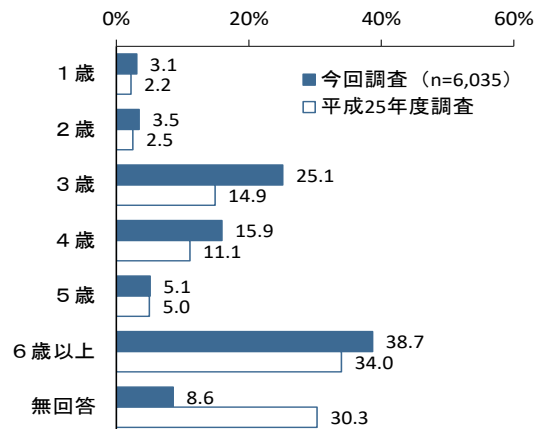
2-3. (市町村ニーズ調査) 母親の就労状況

● 母親の就労状況は、5年前よりフルタイム/パート・アルバイトで働いている人ともに増加。また、母親の就労希望者の割合も増えており、子どもが1～3歳になったら働きたい割合が増加している。

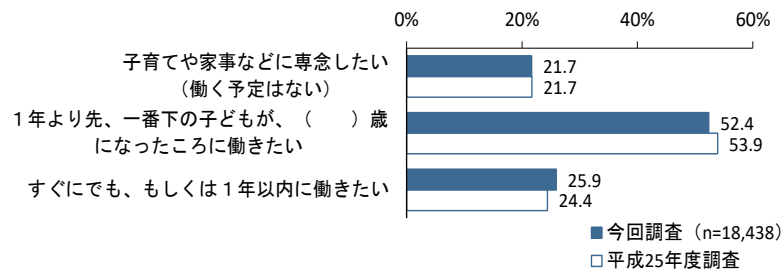
① 母親の就労状況



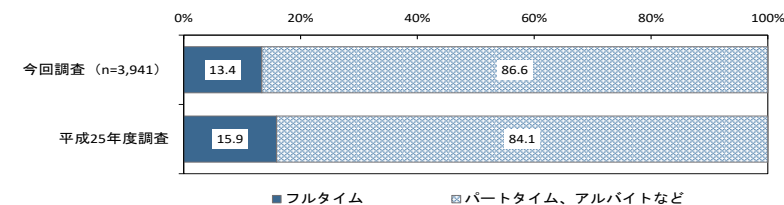
③ ②の選択肢2番目 一番下の子どもが()歳



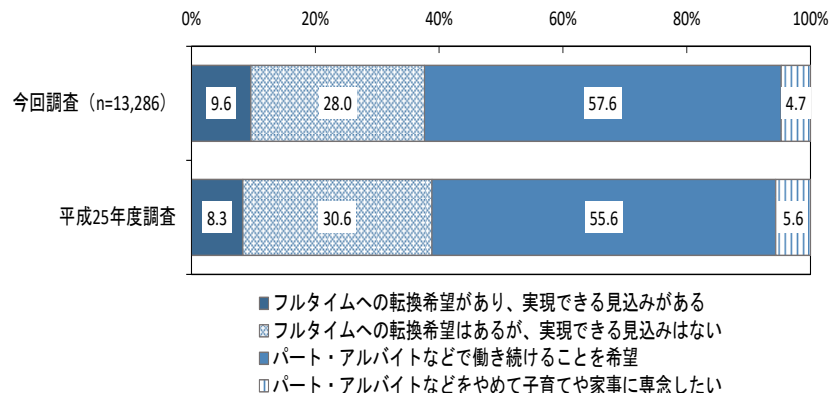
② 就労していない母親の将来の就労希望



④ 就労していない母親の希望する就労形態



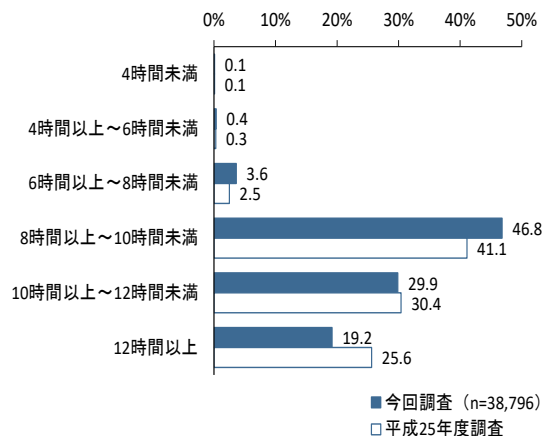
⑤ パート・アルバイトの母親の就労希望



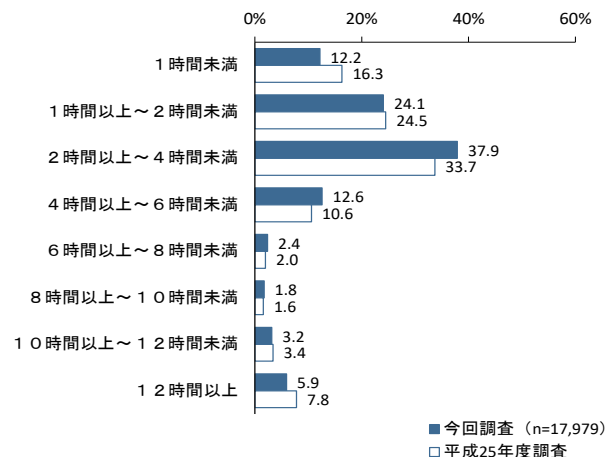
2-4. (市町村ニーズ調査) 父親の子どもと過ごす時間(平日)

● 改善傾向は見られるものの、依然多くの父親が長時間労働の状態にあり、平日に子どもと過ごす時間が少なく、十分と感じられていない。

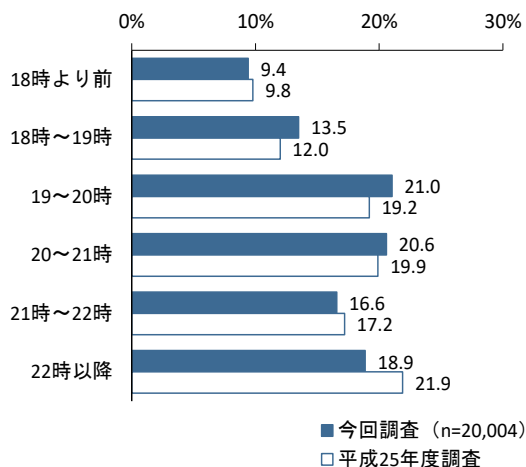
① 父親の就労時間



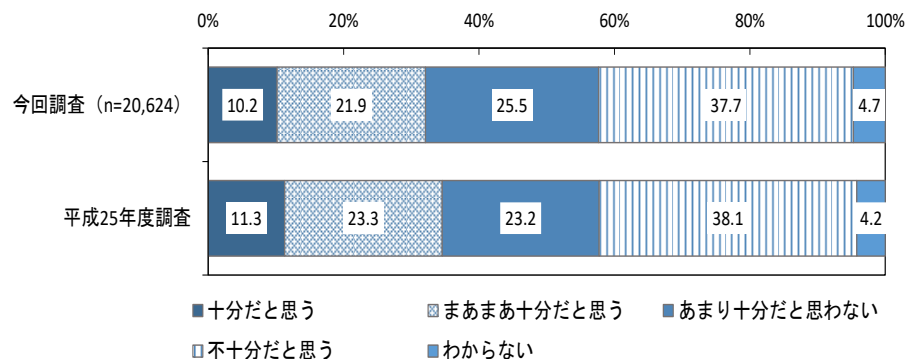
③ 子どもと一緒に過ごす時間(父親・平日)



② 父親の帰宅時間



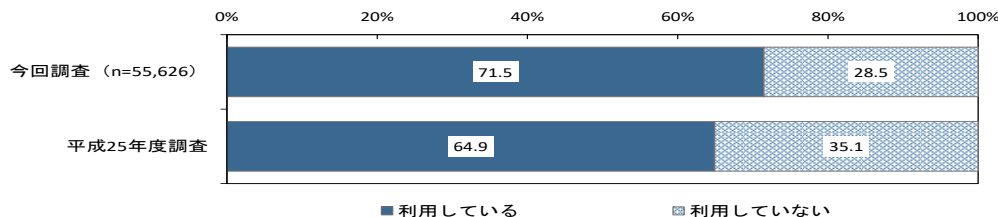
④ 子どもと一緒に過ごす時間が十分か?(父親・平日)



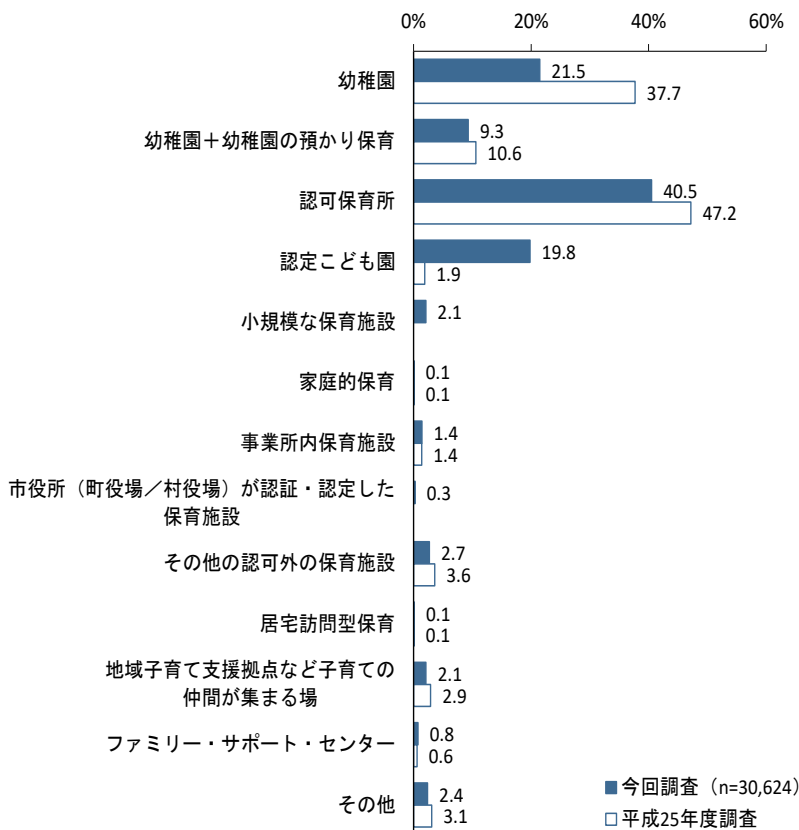
2-5. (市町村ニーズ調査) 教育・保育サービスの利用

● 認定こども園の利用が増加しており、希望する施設でも認定こども園が増えている。

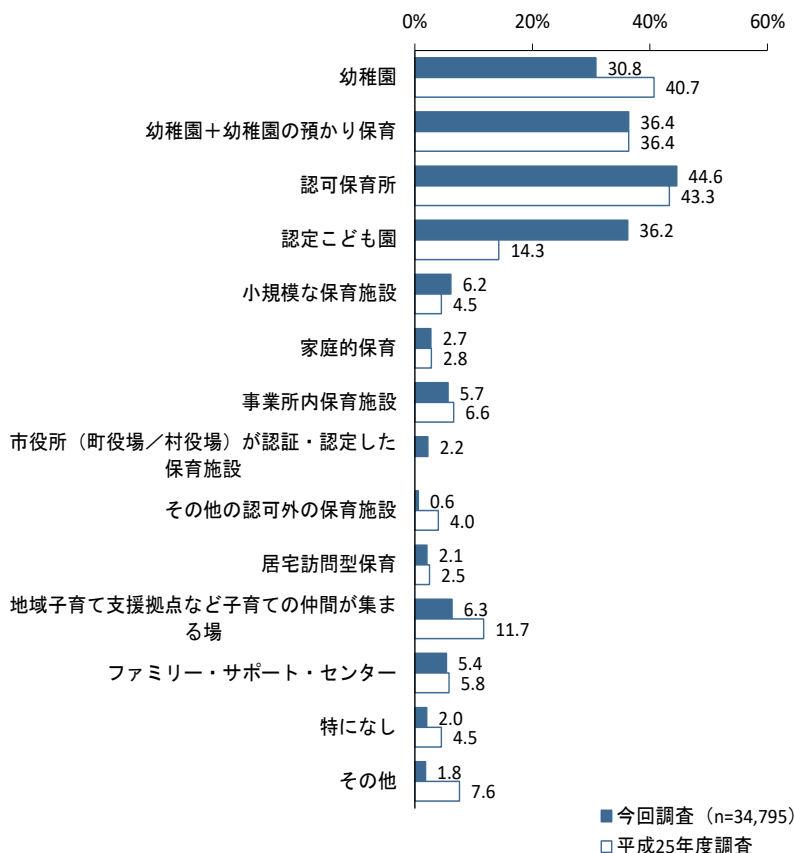
① 定期的にご利用する教育・保育サービスの有無



② ①で現在利用している教育・保育サービス (複数回答)



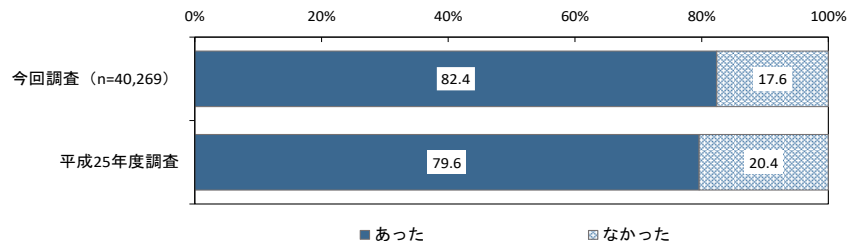
③ 定期的な利用を希望する教育・保育サービス (複数回答)



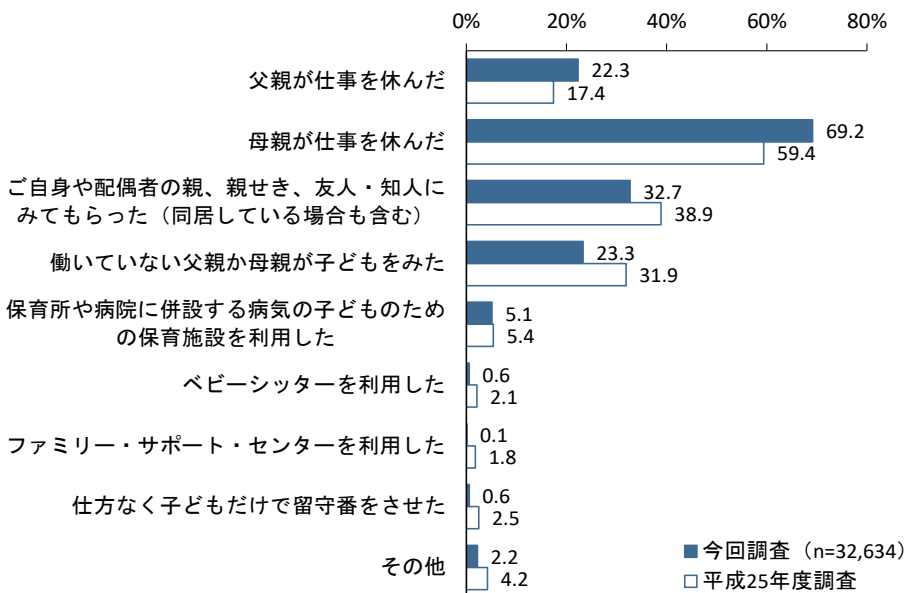
2-6. (市町村ニーズ調査) 子どもが病気やけがのときの保育

● 子どもが病気やけがのとき、保護者が仕事を休むことがもっとも多く、病気の子どものための保育施設等を利用したいと思う人は依然4割弱いる。

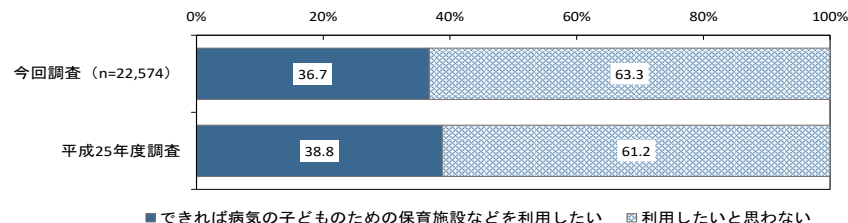
① 子どもが病気等のとき保育が利用できなかったこと



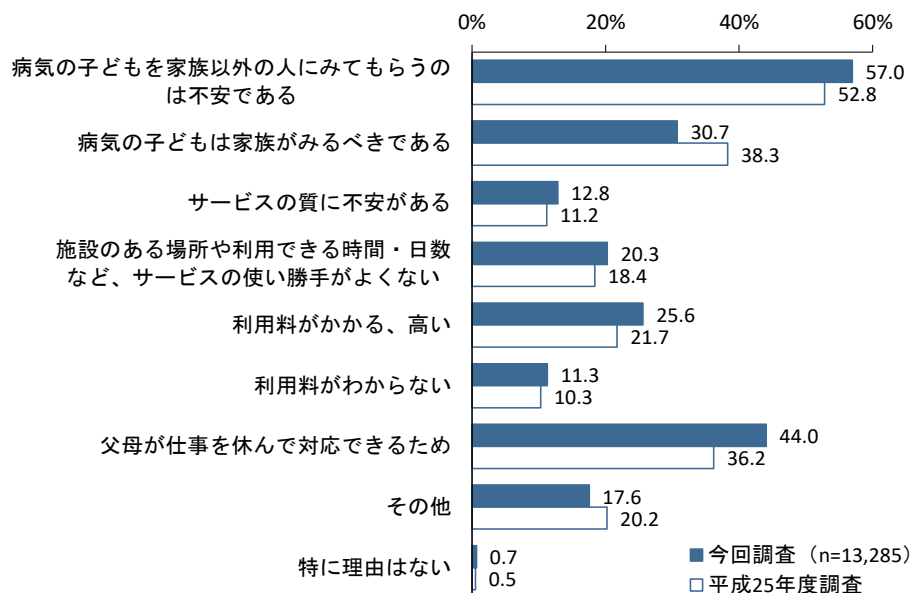
② ①で「あった」人の対処方法 (複数回答)



③ (②で父親・母親が休んだ人)病気の子どもための保育施設等を利用したいか?



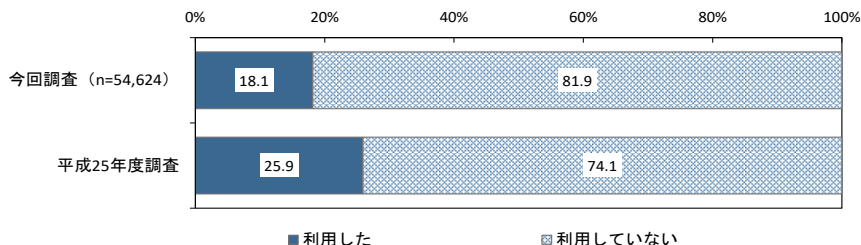
④ ③で利用したいと思わない理由 (複数回答)



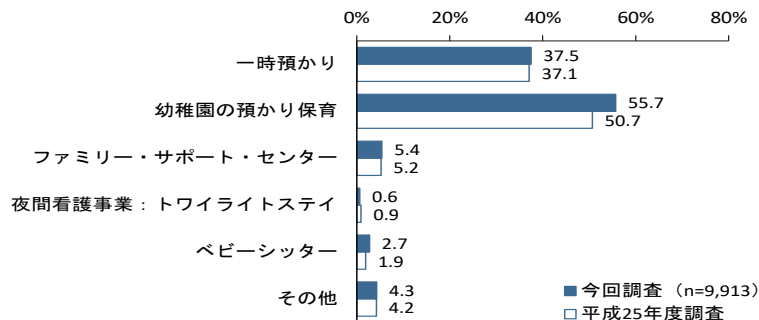
2-7. (市町村ニーズ調査) 不定期な子どもの預かり

● 不定期な子どもの預かりを利用した人は減少しているが、利用したいと希望している人は、5年前と変わらず半数近くいる。

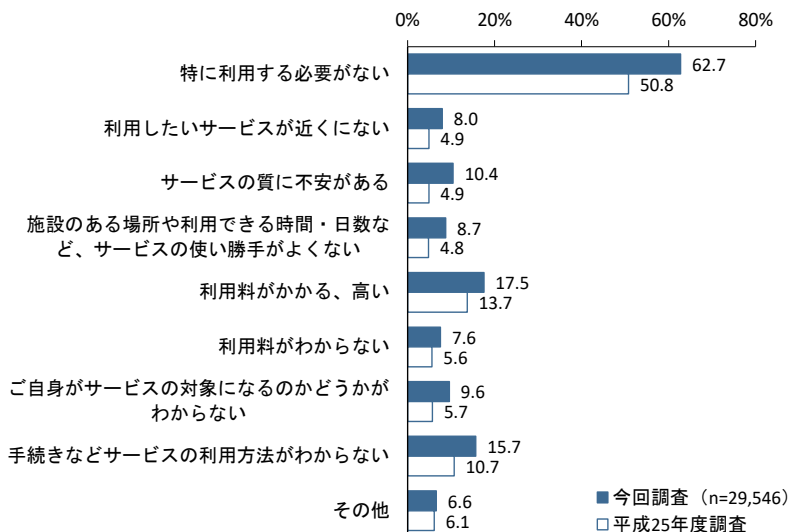
① 不定期な子どもの預かりの利用の有無



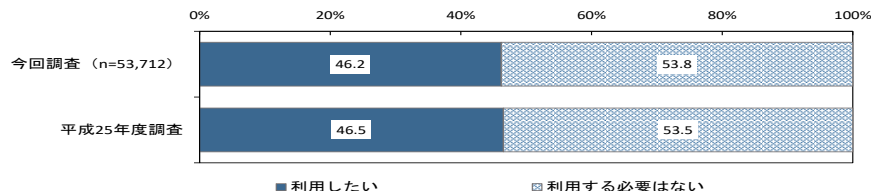
② ①で利用したサービス



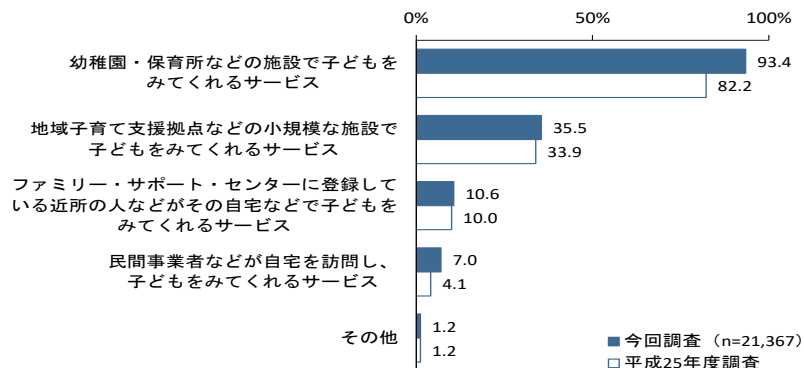
③ ①で利用していない理由 (複数回答)



④ 不定期な子どもの預かりの利用希望



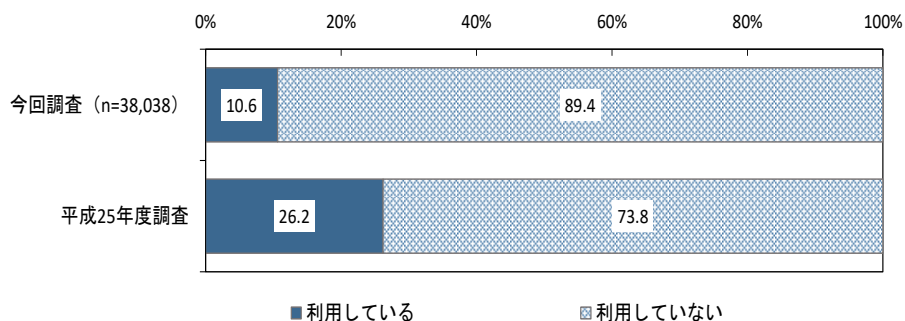
⑤ ④で利用したいサービス (複数回答)



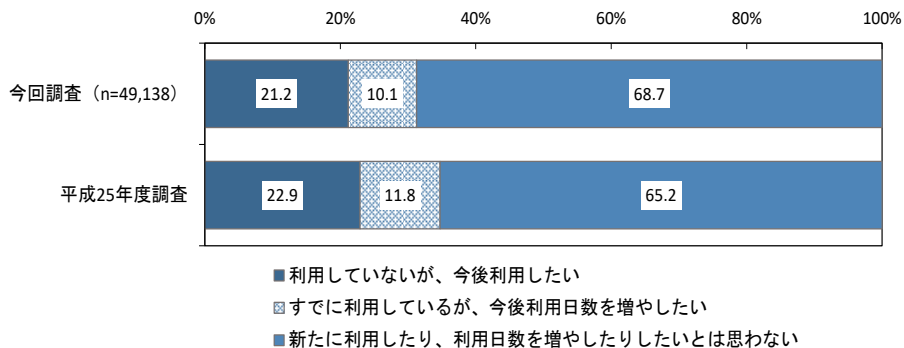
2-8. (市町村ニーズ調査) 地域子育て支援拠点の利用状況

● 地域子育て支援拠点の利用については減少しており、今後も利用を希望する人は3割強にとどまっている。

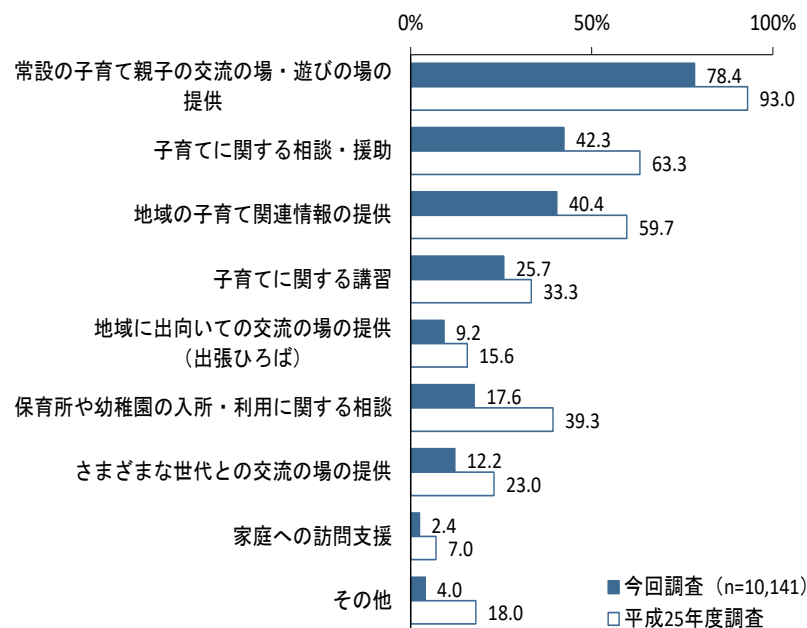
① 地域子育て支援拠点事業の利用状況



② 地域子育て支援拠点事業の利用希望



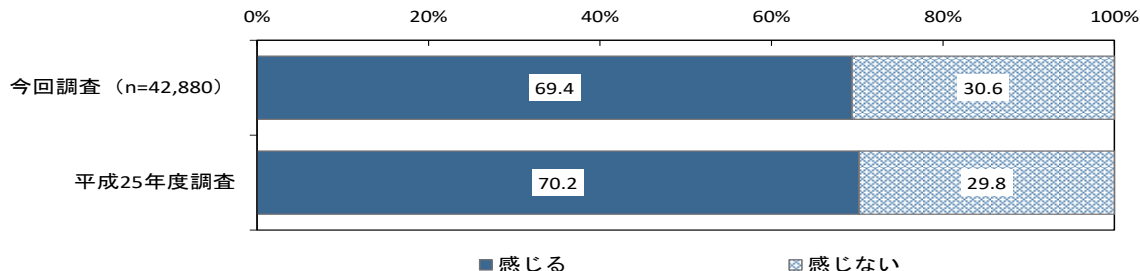
③ ②で利用を希望している人が望むサービス (複数回答)



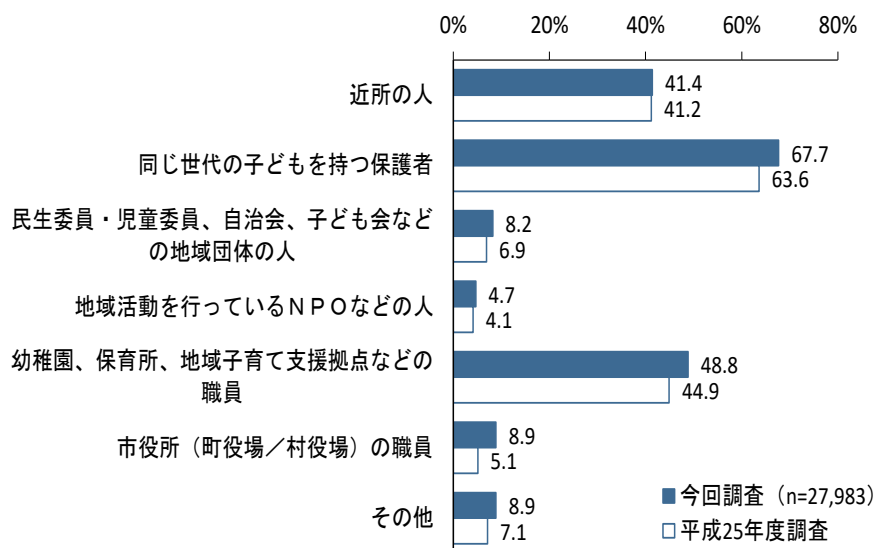
2-9. (市町村ニーズ調査) 子育てに対する地域からの支援

● 子育てを地域から支えられていると感じる人は、依然7割近くおり、同じ世代の子どもをもつ保護者からもっとも支えられていると感じている。また、幼稚園・保育所・地域子育て支援拠点などの職員に支えて欲しいと思う割合が増加している。

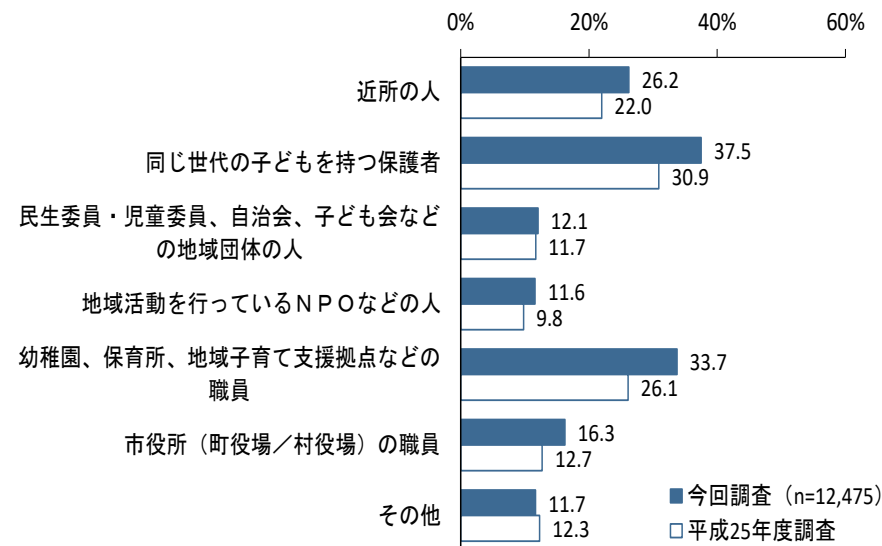
① 子育てが地域の人に支えられていると感じるか？



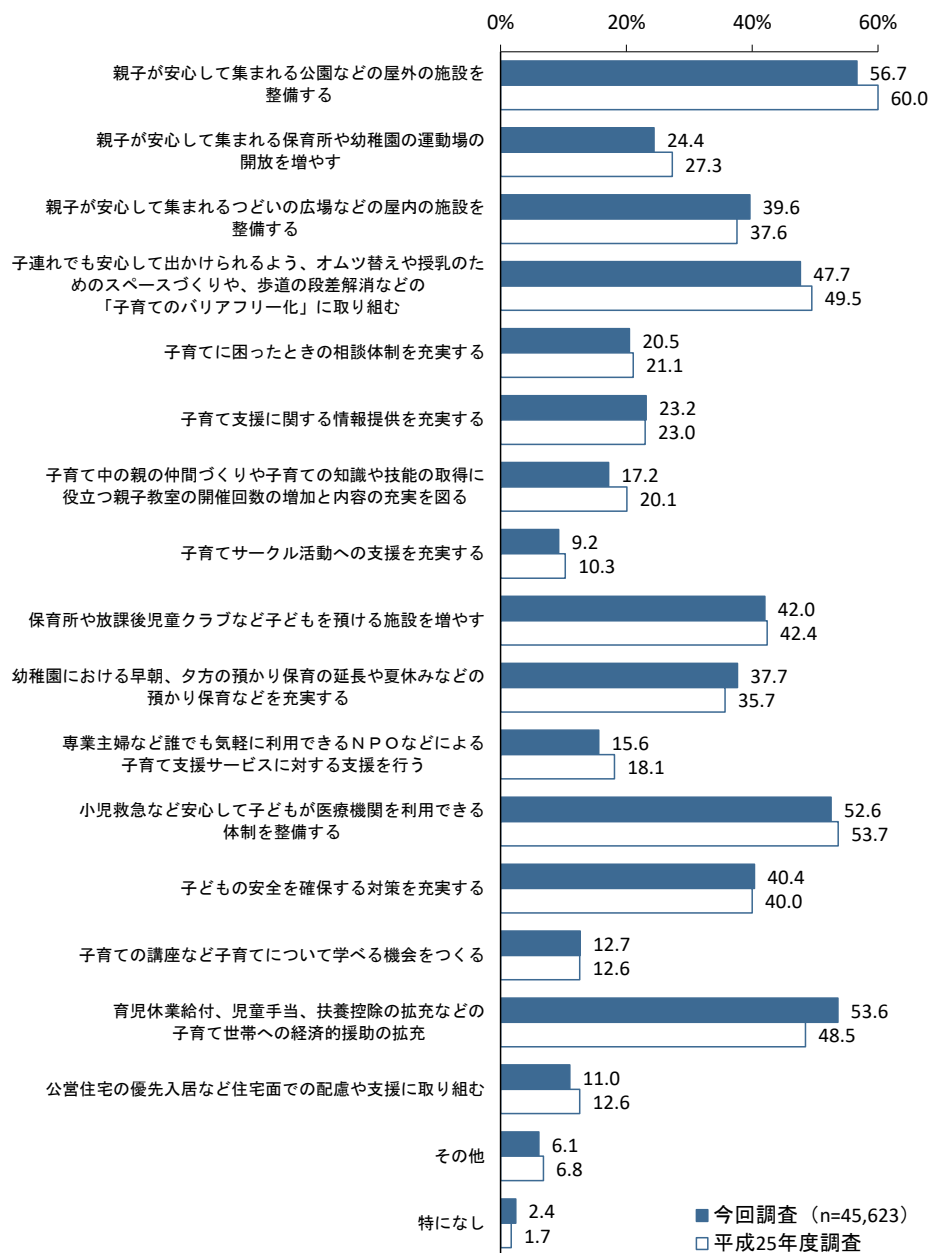
② <感じる人> 誰から支えられているか？ (複数回答)



③ <感じない人> 誰から支えてほしいか？ (複数回答)



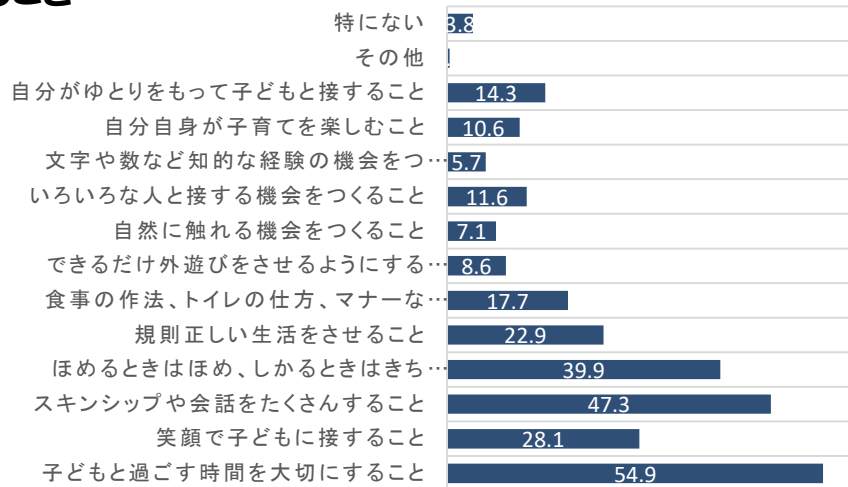
2-10. (市町村ニーズ調査) 子育て支援策に関する府民ニーズ



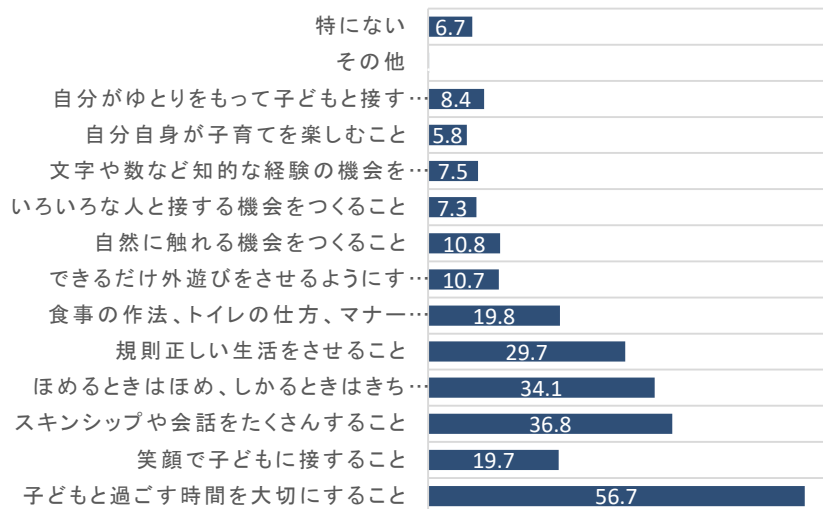
3-1. (家庭の養育力調査) 子育てで大切にしていること

● 子育てで大切にしていることは「子どもと過ごす時間」がもっとも多い。

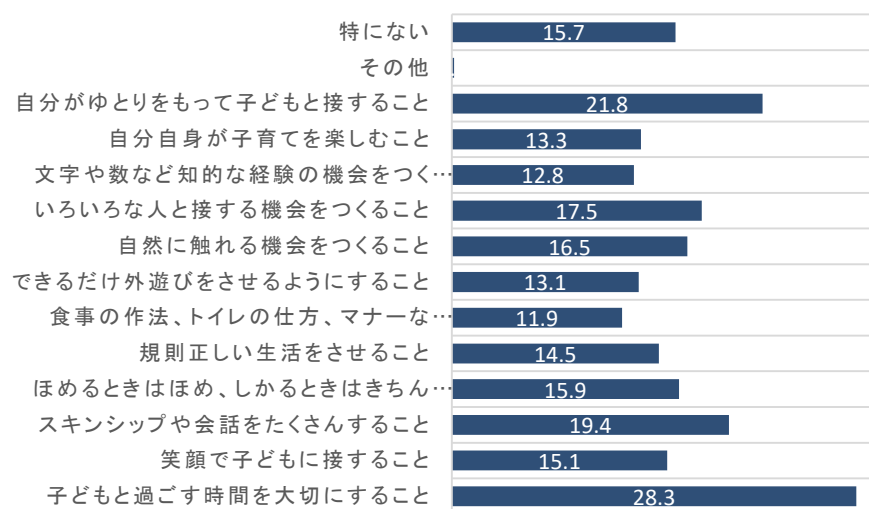
① 調査1(就学前)大切にしていること



② 調査2(就学後) 就学前期に大切にしていたこと



③ 調査2(就学後) 大切にしておけばよかったこと



3-2. (家庭の養育力調査) 子育てをしていて、困っていること

● 子育てをしていて、困っていることは、「自分の時間がとれない」、「子育てがこれでいいのか不安」を選ぶ人が多い。

① 調査1(就学前) 困ったこと



② 調査2(就学後) 困ったこと

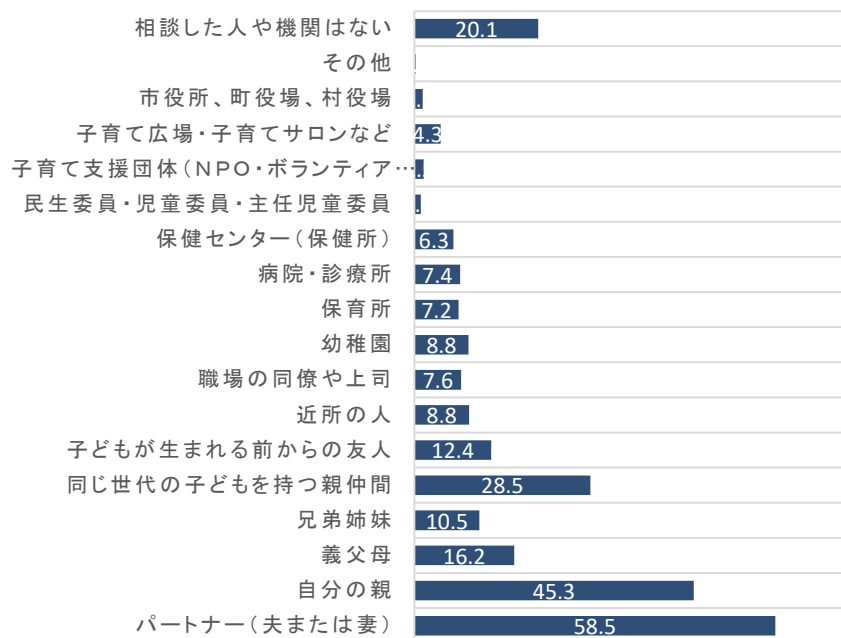


3-3. (家庭の養育力調査) 子育ての相談をした人

●子育ての相談した人・機関については、パートナーや親族、友人が多い。

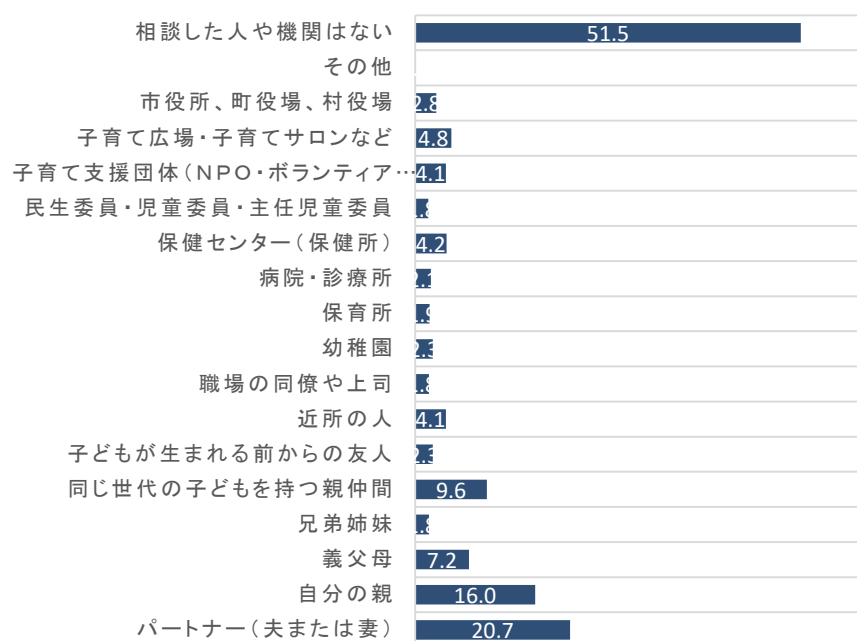
① 調査2(就学後)

乳幼児期の子育てについて相談した人・機関



② 調査2(就学後)

乳幼児期の子育てについてもっと頼っておけばよかった人・機関

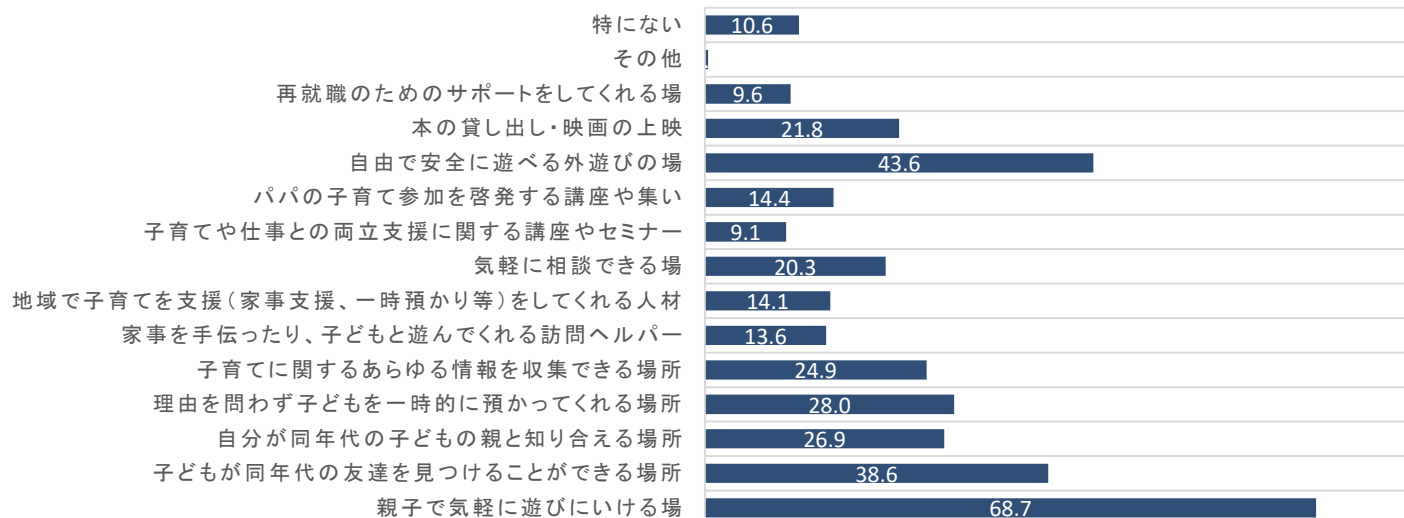


3-4. (家庭の養育力調査) 保護者が求める子育て支援情報及びサービス

● 保護者が必要とする情報は「地域の遊び場等」や「子どものしつけ方」の情報が多い。



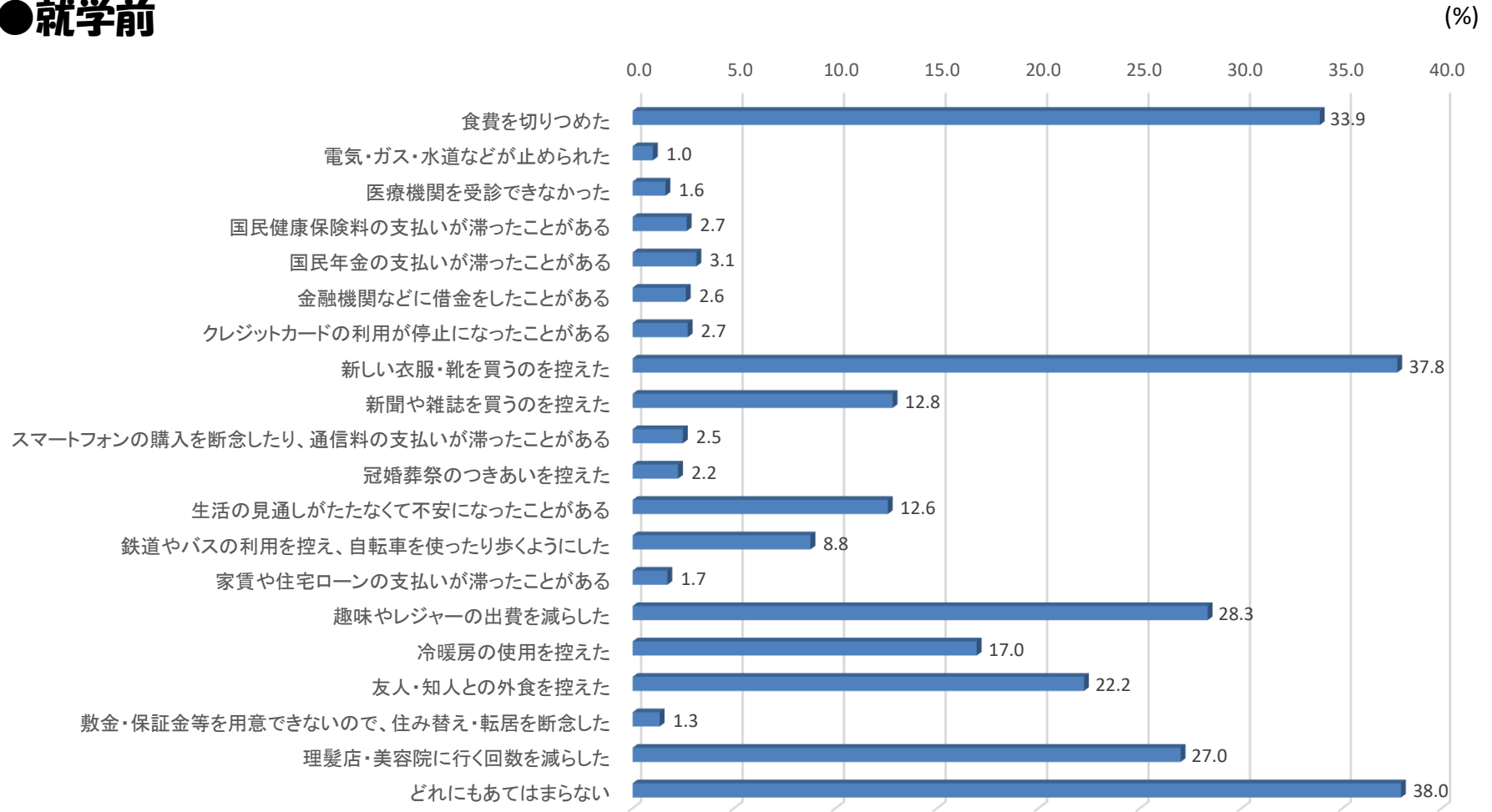
● 保護者が望むサービスは「親子で遊びにいける場」がもっとも多い。



3-5. (家庭の養育力調査) 半年以内に経済的な理由で経験したこと(就学前)

● どれにもあてはまらないが最も多く、次いで、新しい衣服・靴を買うのを控えた、食費を切りつめた、趣味やレジャーの出費を減らしたが多くなっている。生活の見通しがたたず不安になったことがある割合は12.6%となっている。

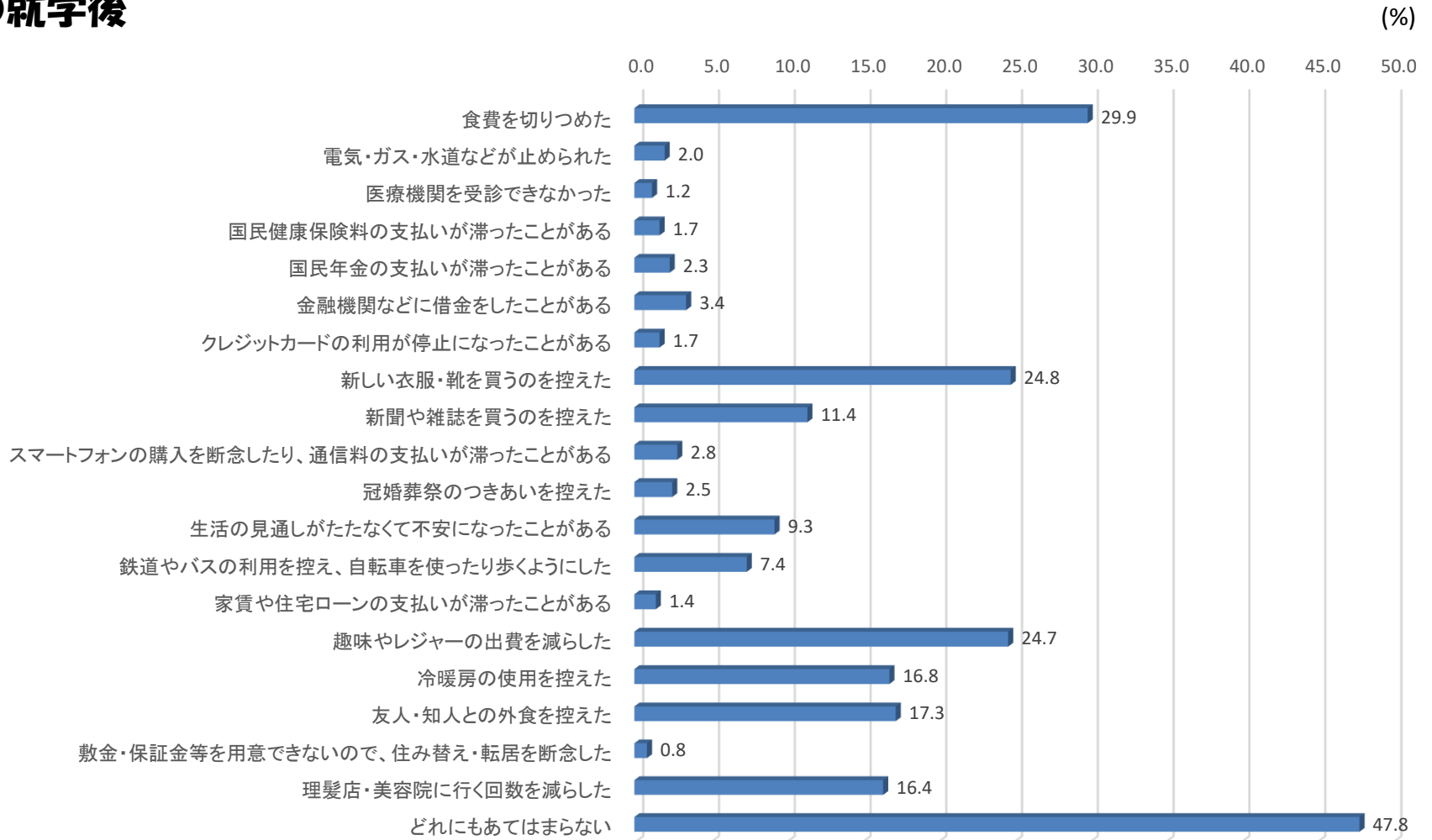
●就学前



3-5. (家庭の養育力調査) 半年以内に経済的な理由で経験したこと(就学後)

● どれにもあてはまらないが最も多く、次いで、食費を切りつめた、新しい衣服・靴を買うのを控えた、趣味やレジャーの出費を減らしたが多くなっている。生活の見通しがたたず不安になったことがある割合は9.3%となっている。

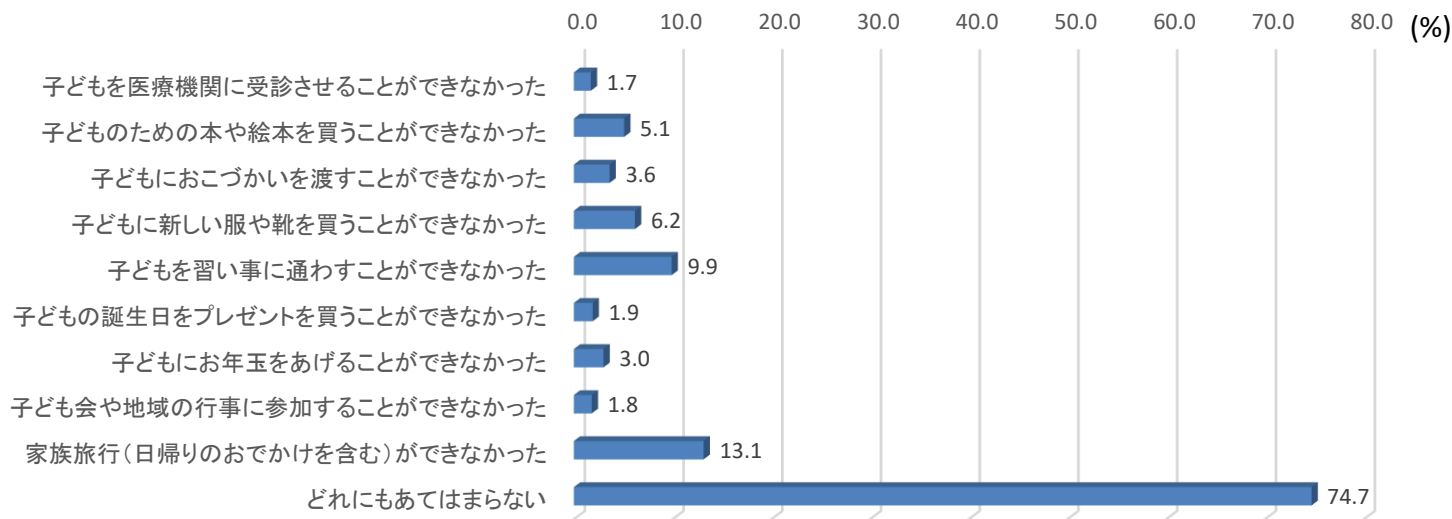
●就学後



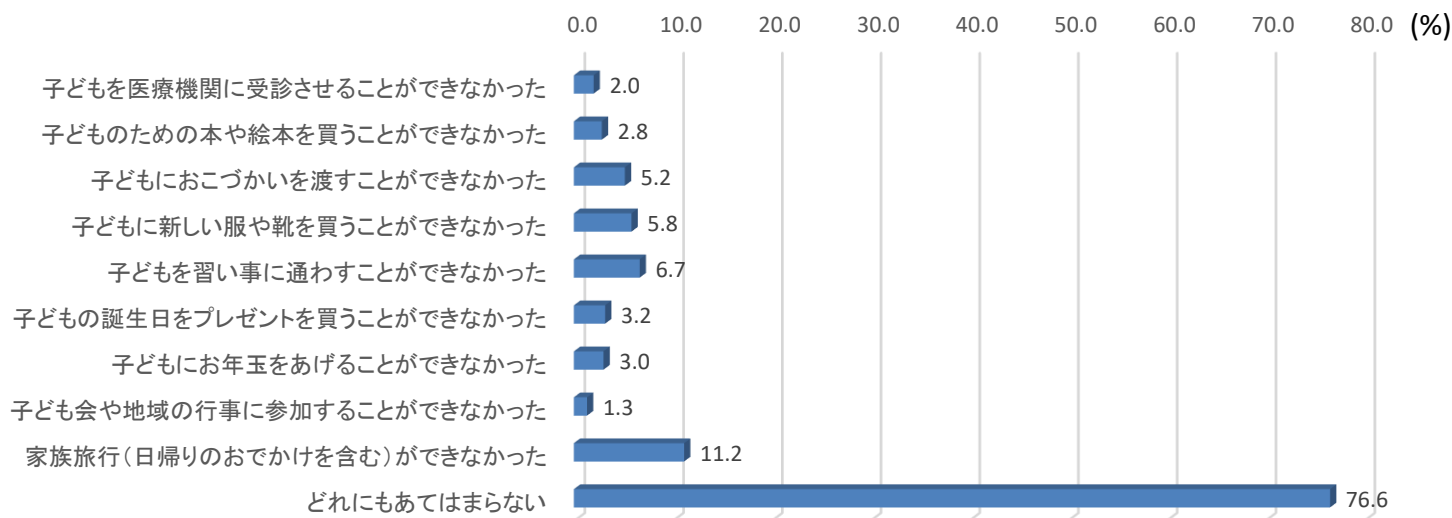
3-6. (家庭の養育力調査) 経済的な理由で子どもできなかったこと(過去1年以内)

● 就学前・就学後とも、家族旅行やおでかけができなかったが1割超、習い事に通わすことができなかったが1割弱となっている。どれにもあてはまらぬは約4分の3となっている。

●就学前



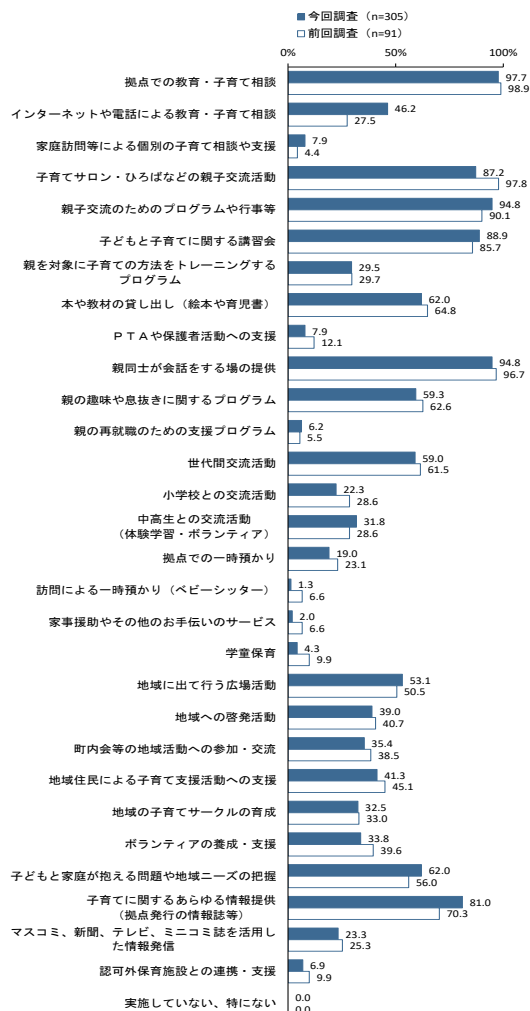
●就学後



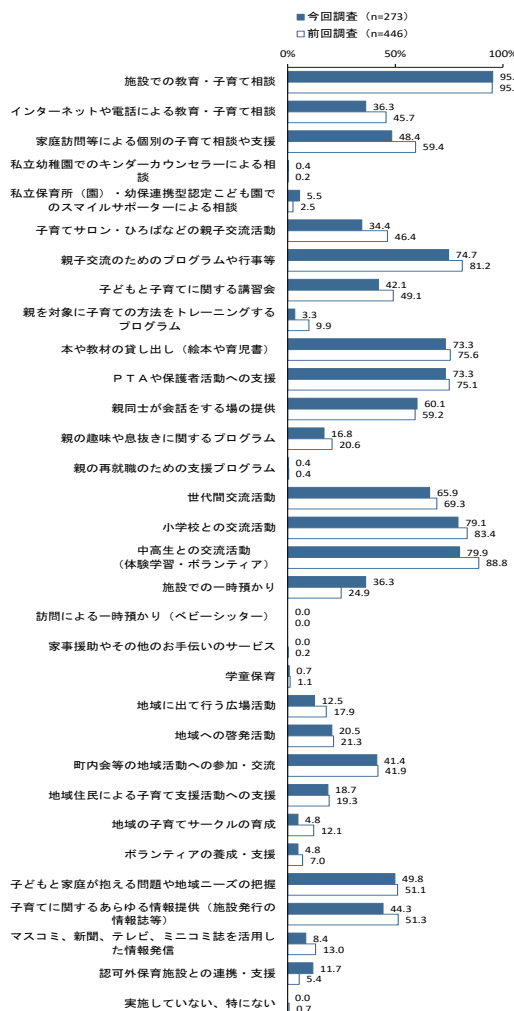
3-7. (家庭の養育力調査) 施設等が実施している子育て支援活動

① 実施している子育て支援活動

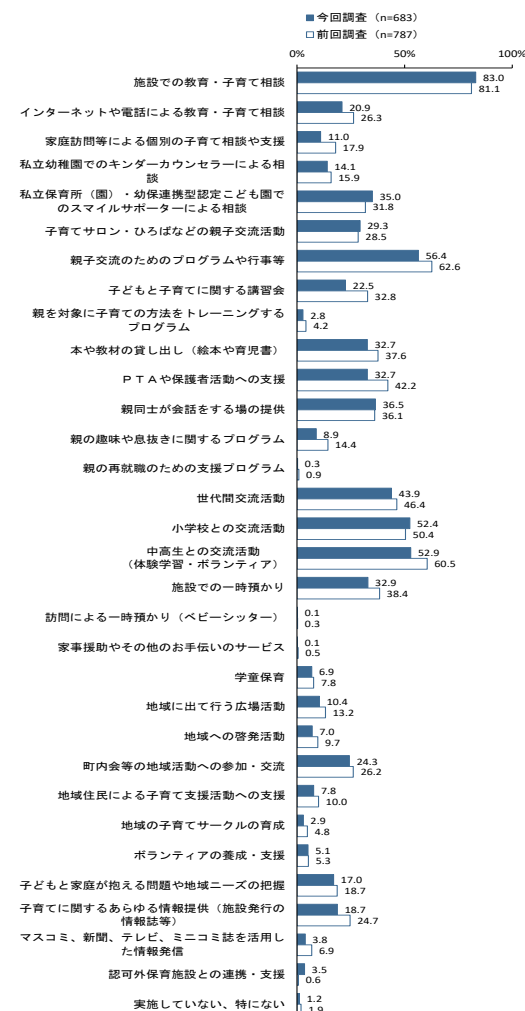
■地域子育て支援拠点



■公立保育所(園)・幼稚園・幼保連携型認定こども園



■私立保育所(園)・幼稚園・幼保連携型認定こども園



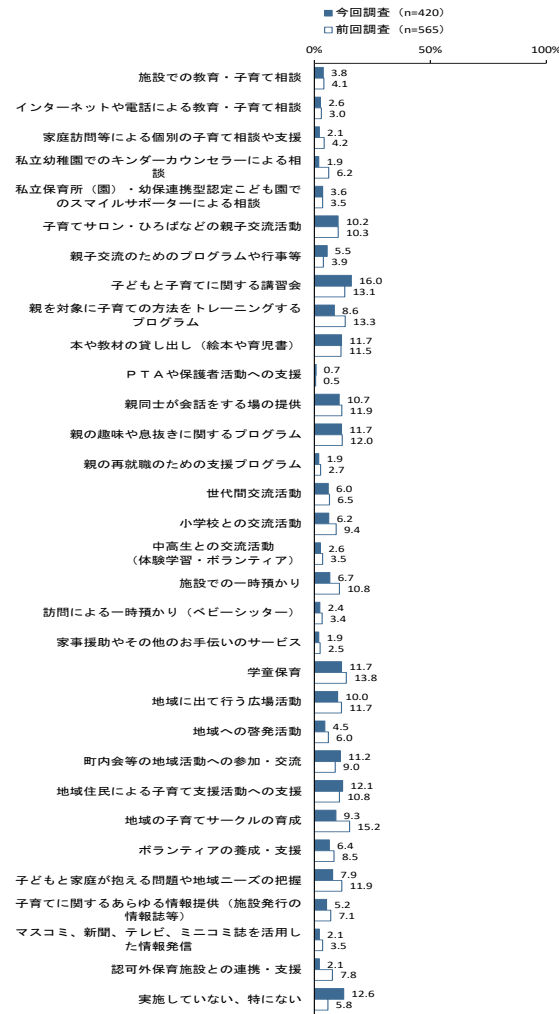
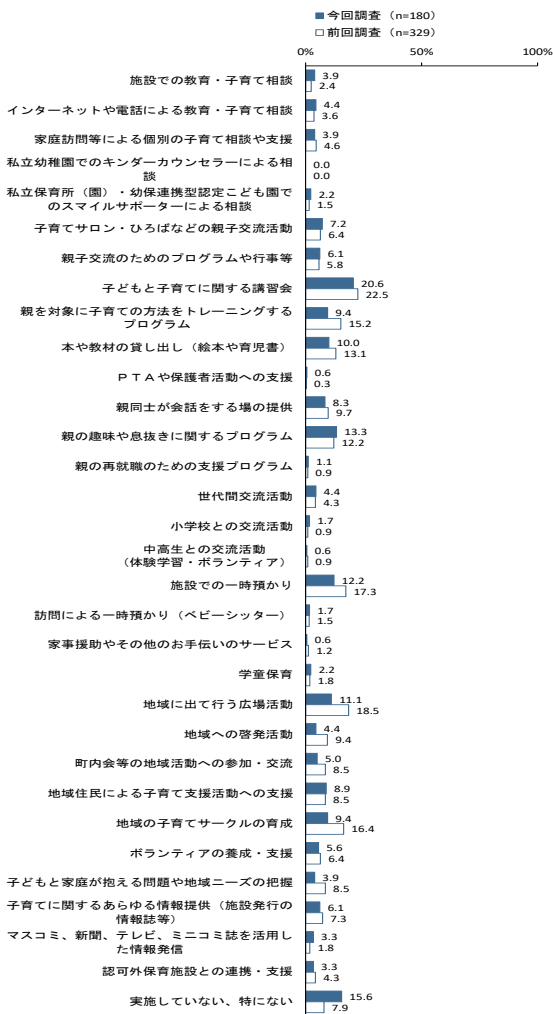
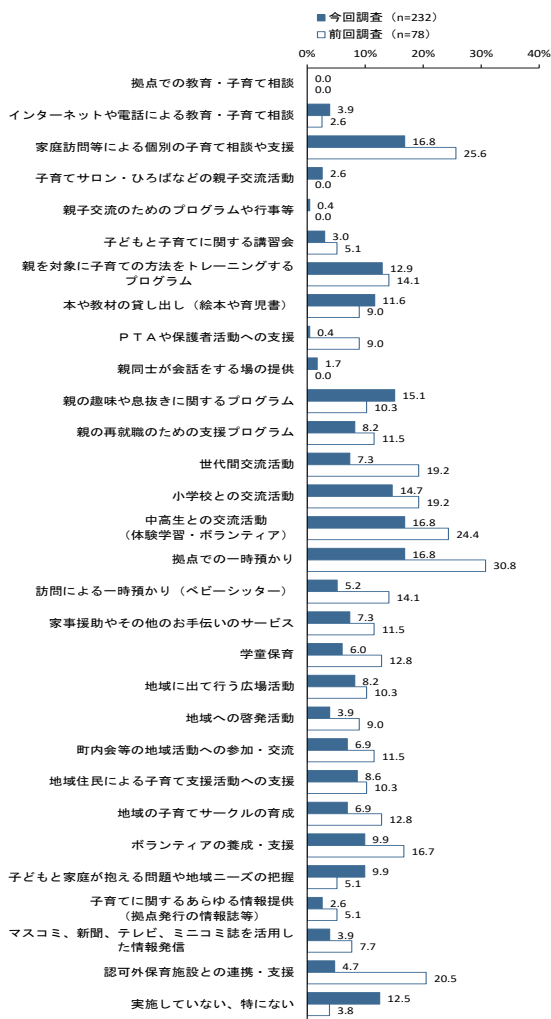
3-7. (家庭の養育力調査) 施設等が実施している子育て支援活動

② 支援があれば実施してみたい子育て支援活動

■地域子育て支援拠点

■公立保育所(園)・幼稚園・幼保連携型認定こども園

■私立保育所(園)・幼稚園・幼保連携型認定こども園

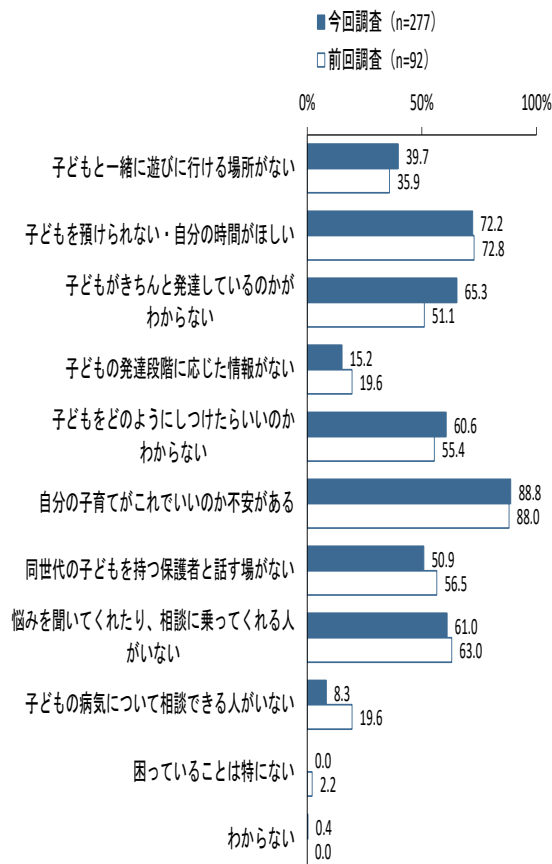


3-8. (家庭の養育力調査) 施設等から見た子育てで困っていること

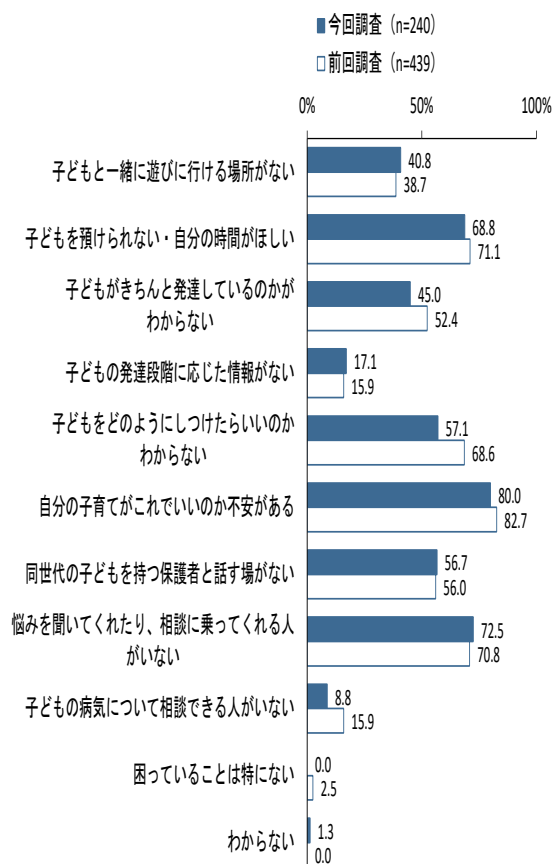
● 地域子育て支援拠点・保育所・幼稚園・認定こども園から見た子育て家庭が困っていることは、「子育てがこれでいいのか不安」「自分の時間がほしい」が多い。

① 地域子育て支援拠点、保育所、幼稚園から見た地域の子育て家庭において困っていると思うこと

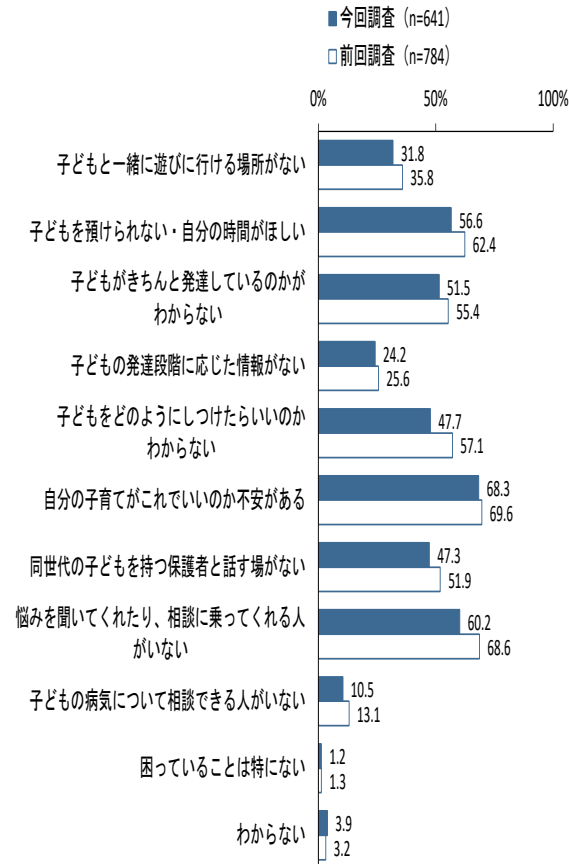
■ 地域子育て支援拠点



■ 公立保育所(園)・幼稚園・幼保連携型認定こども園



■ 私立保育所(園)・幼稚園・幼保連携型認定こども園



4-1. (保育士等確保調査) 私立保育所・幼稚園・認定こども園の職員構成等

① 雇用状況

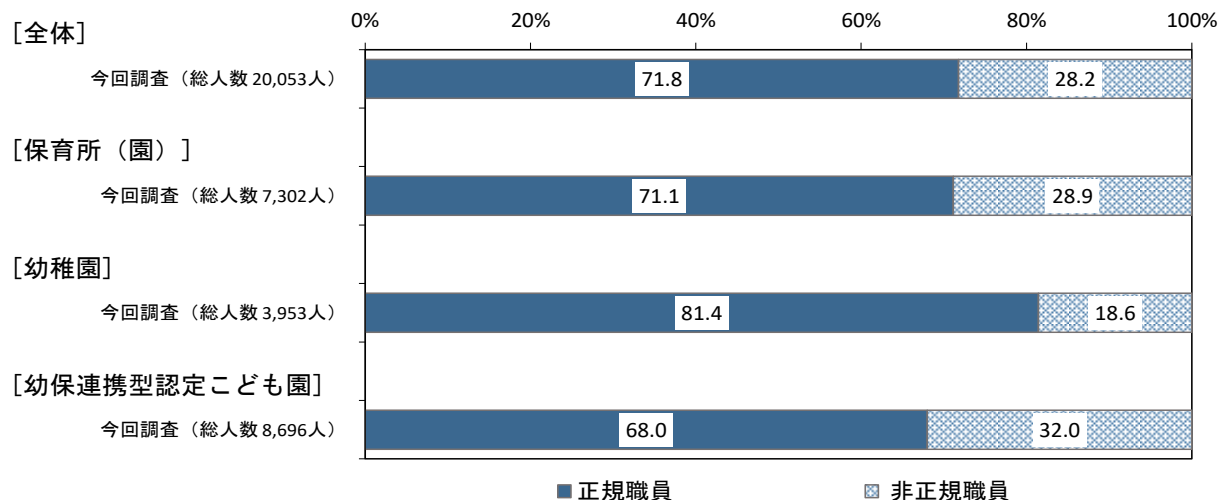
雇用状況について、年代別で見ると、「10代・20代」が36.2%で最も高く、次いで「30代」が22.6%、「40代」が20.8%と続いている。

単位：%

年代	合計	保育士資格・幼稚園免許併有		保育士資格				幼稚園免許		看護師		子育て支援員		その他	
		男	女	男	女	うち 地域限定保育士		男	女	男	女	男	女	男	女
						男	女								
10代・20代	36.2	1.2	29.0	0.2	2.2	0.0	0.1	0.1	1.9	0.0	0.1	0.0	0.2	0.1	1.1
30代	22.6	0.8	16.9	0.2	2.1	0.0	0.2	0.0	1.0	0.0	0.4	0.1	0.2	0.1	0.7
40代	20.8	0.3	14.4	0.1	2.3	0.0	0.2	0.1	1.1	0.0	0.5	0.0	0.4	0.3	1.3
50代	13.5	0.1	9.1	0.1	1.4	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.2	0.0	0.5	0.3	1.2
60代以上	6.9	0.0	2.8	0.0	0.8	0.0	0.0	0.1	0.5	0.0	0.1	0.0	0.3	0.9	1.3
合計	100.0	2.4	72.2	0.6	8.8	0.1	0.5	0.3	5.3	0.0	1.3	0.2	1.6	1.7	5.6

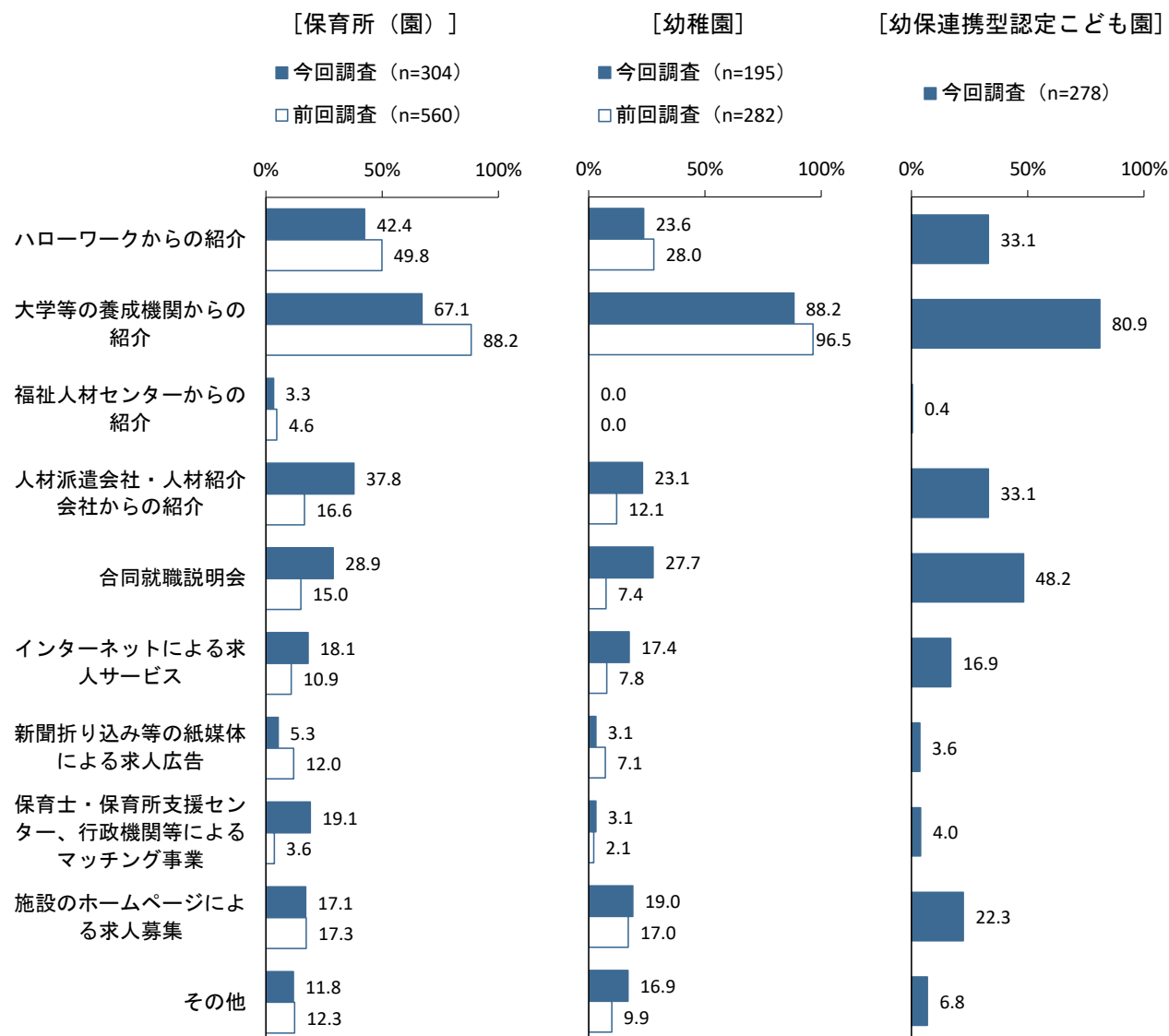
② 正規職員・非正規職員比率

正規職員・非正規職員の比率については、「正規職員」が71.8%、「非正規職員」が28.2%となっている。



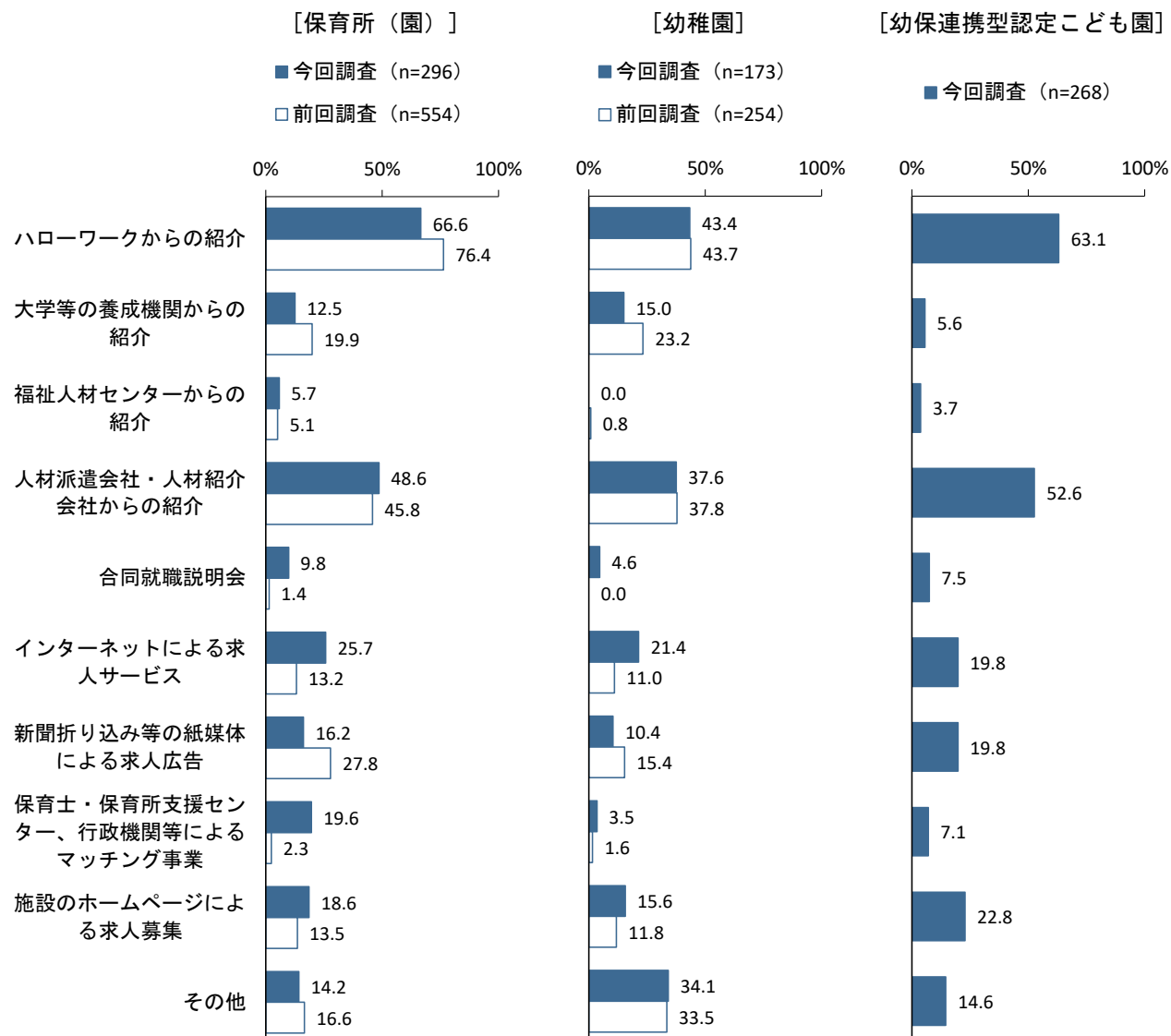
4-2. (保育士等確保調査) 有効な職員募集方法

① 正規職員の採用で有効な職員募集方法 (複数回答)



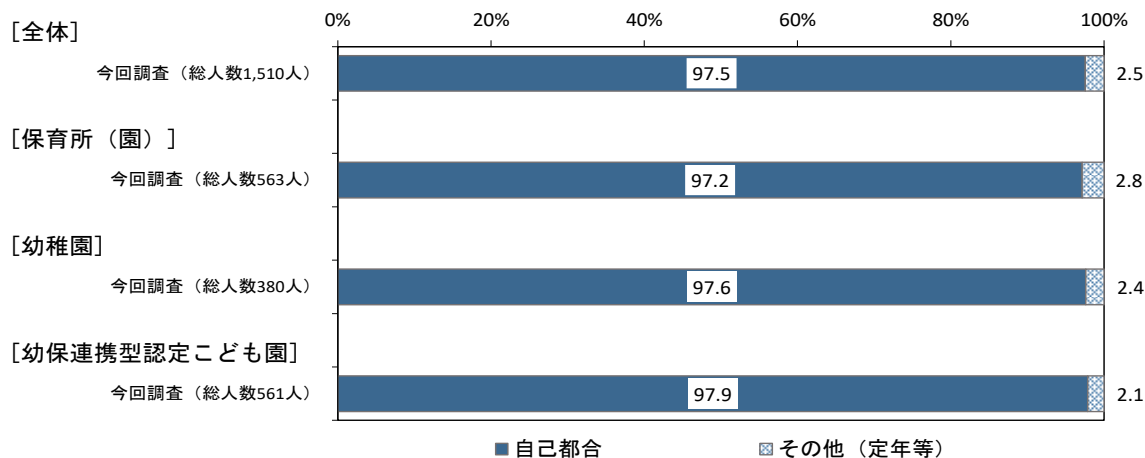
4-2. (保育士等確保調査) 有効な職員募集方法

② 非正規職員の採用で有効な職員募集方法 (複数回答)

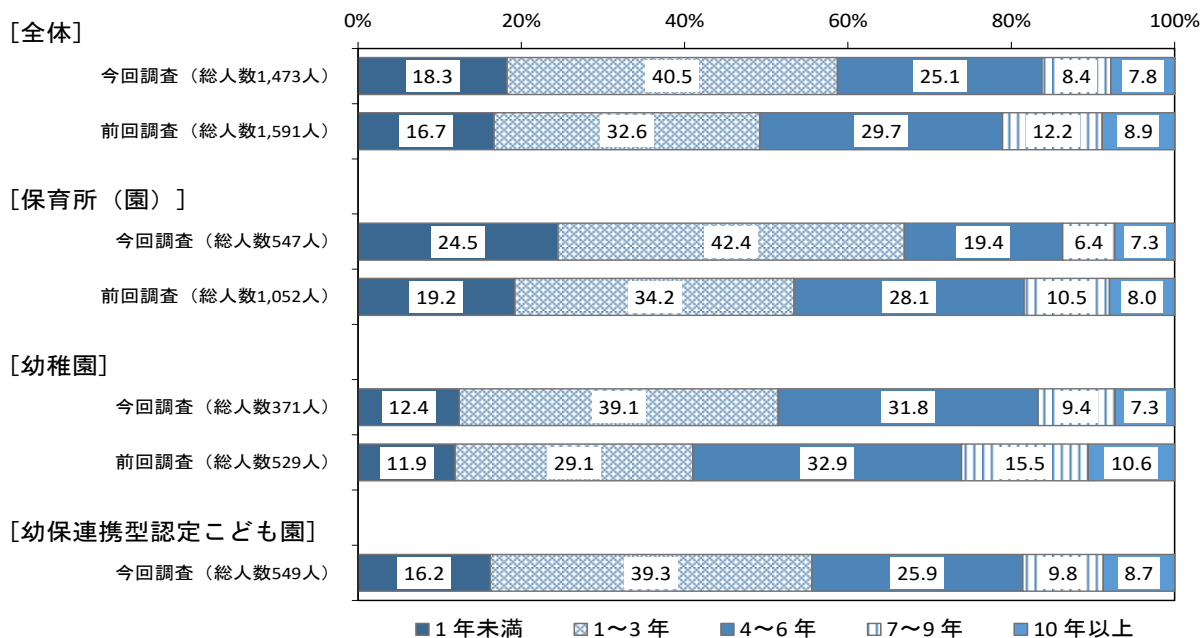


4-3. (保育士等確保調査) 正規職員の離職状況

① 離職理由

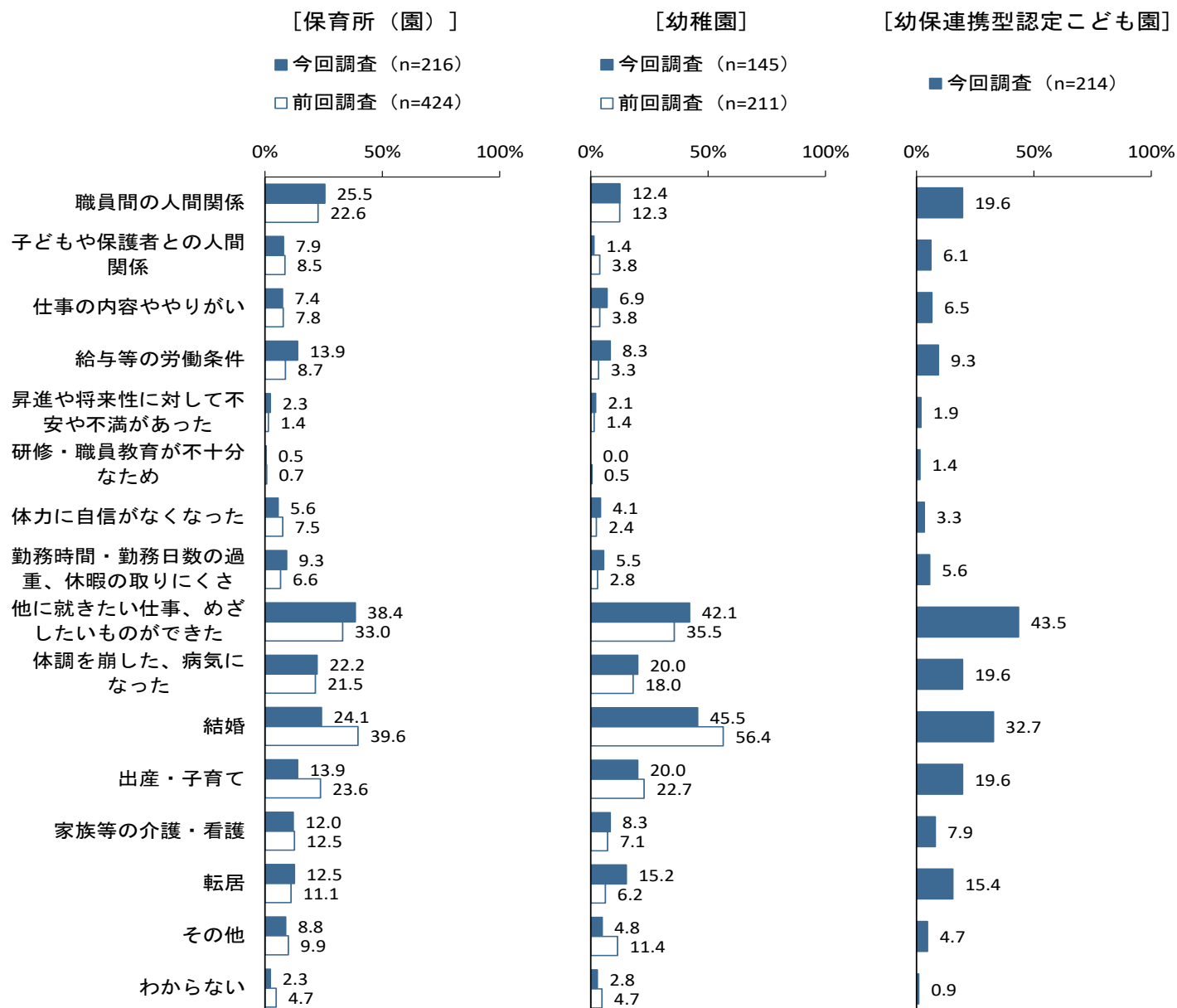


② 自己都合で離職した者の勤続年数



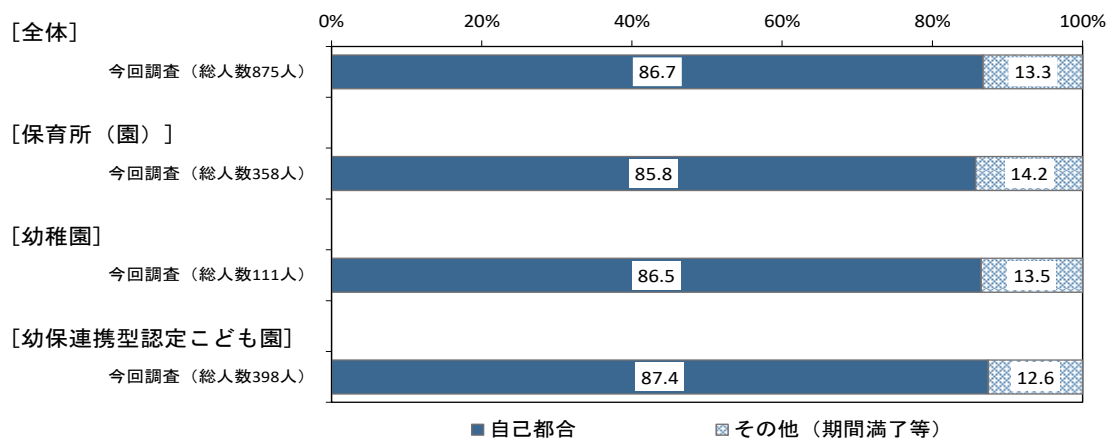
4-3. (保育士等確保調査) 正規職員の離職状況

③自己都合による離職者の考えられる離職理由

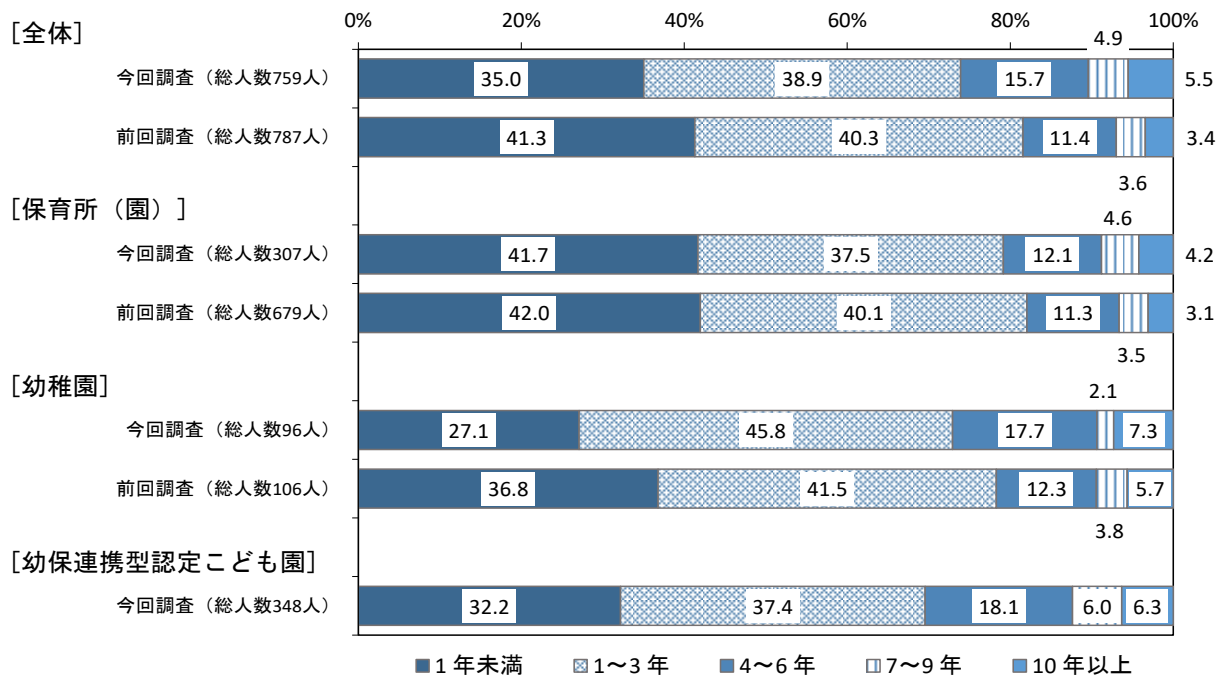


4-3. (保育士等確保調査) 非正規職員の離職状況

① 離職理由

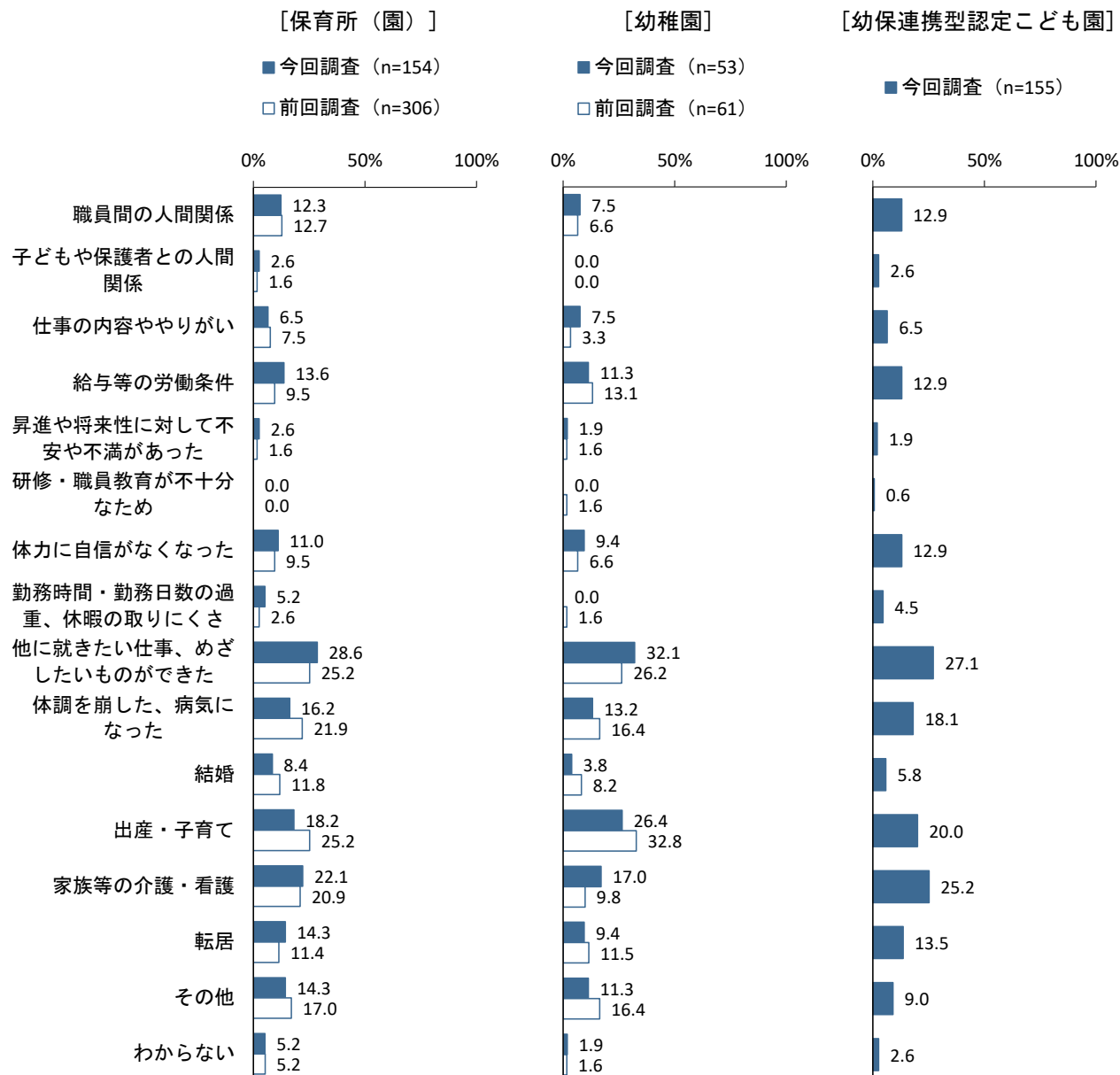


② 自己都合で離職した者の勤続年数



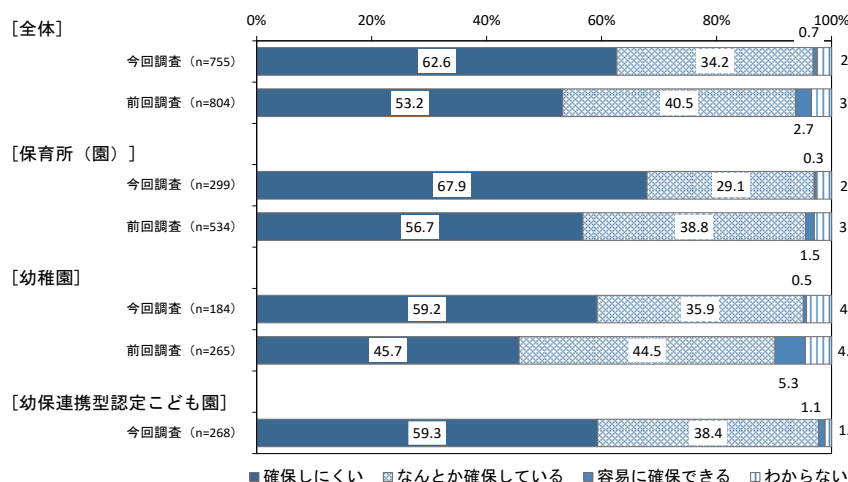
4-3. (保育士等確保調査) 非正規職員の離職状況

③自己都合による離職者の考えられる離職理由

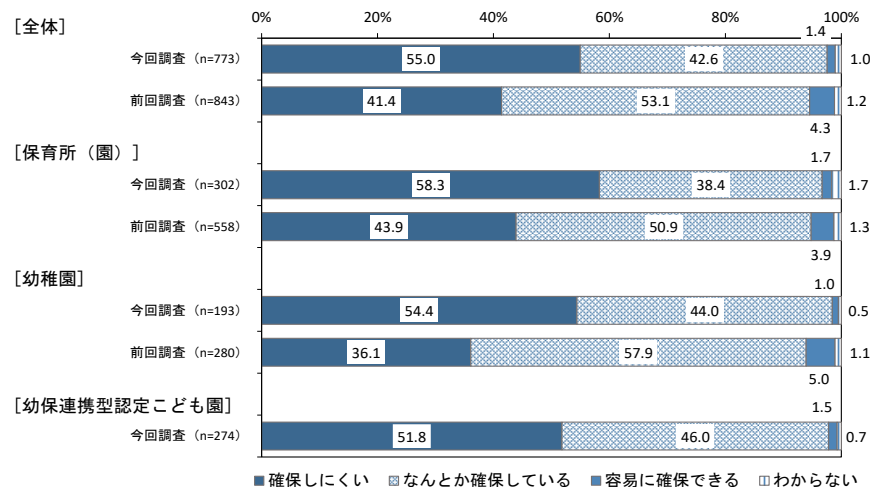


4-4. (保育士等確保調査) 人材確保の現状・離職防止の取り組み

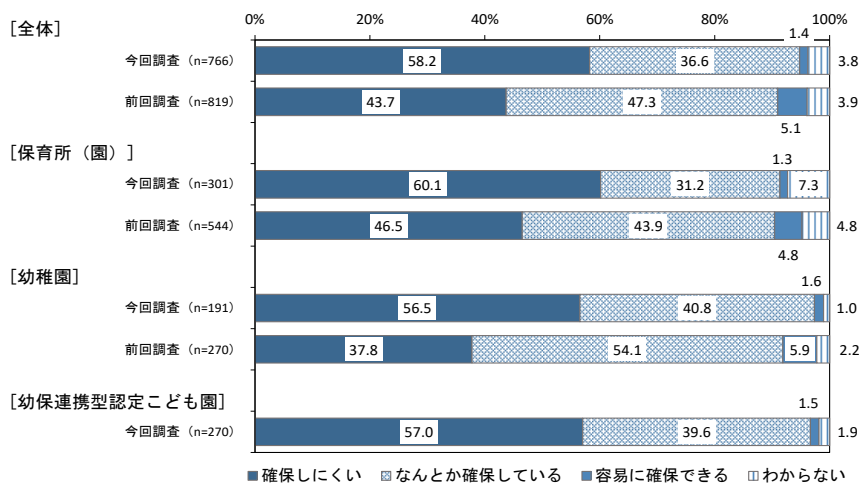
① 人材確保の現状の現状(正規職員)



② 人材確保の現状の現状(非正規職員)

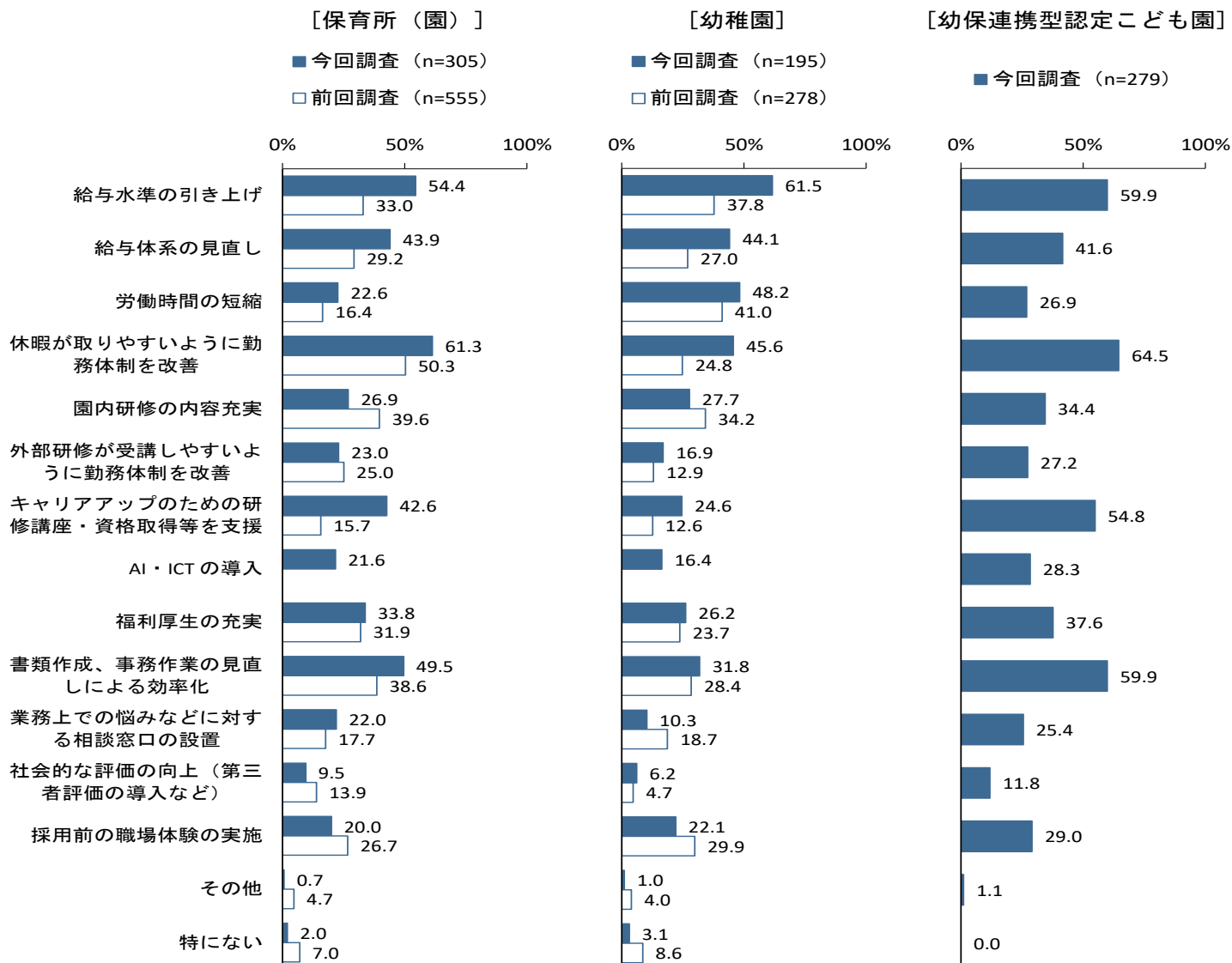


③ 人材確保の現状の現状(新卒者)



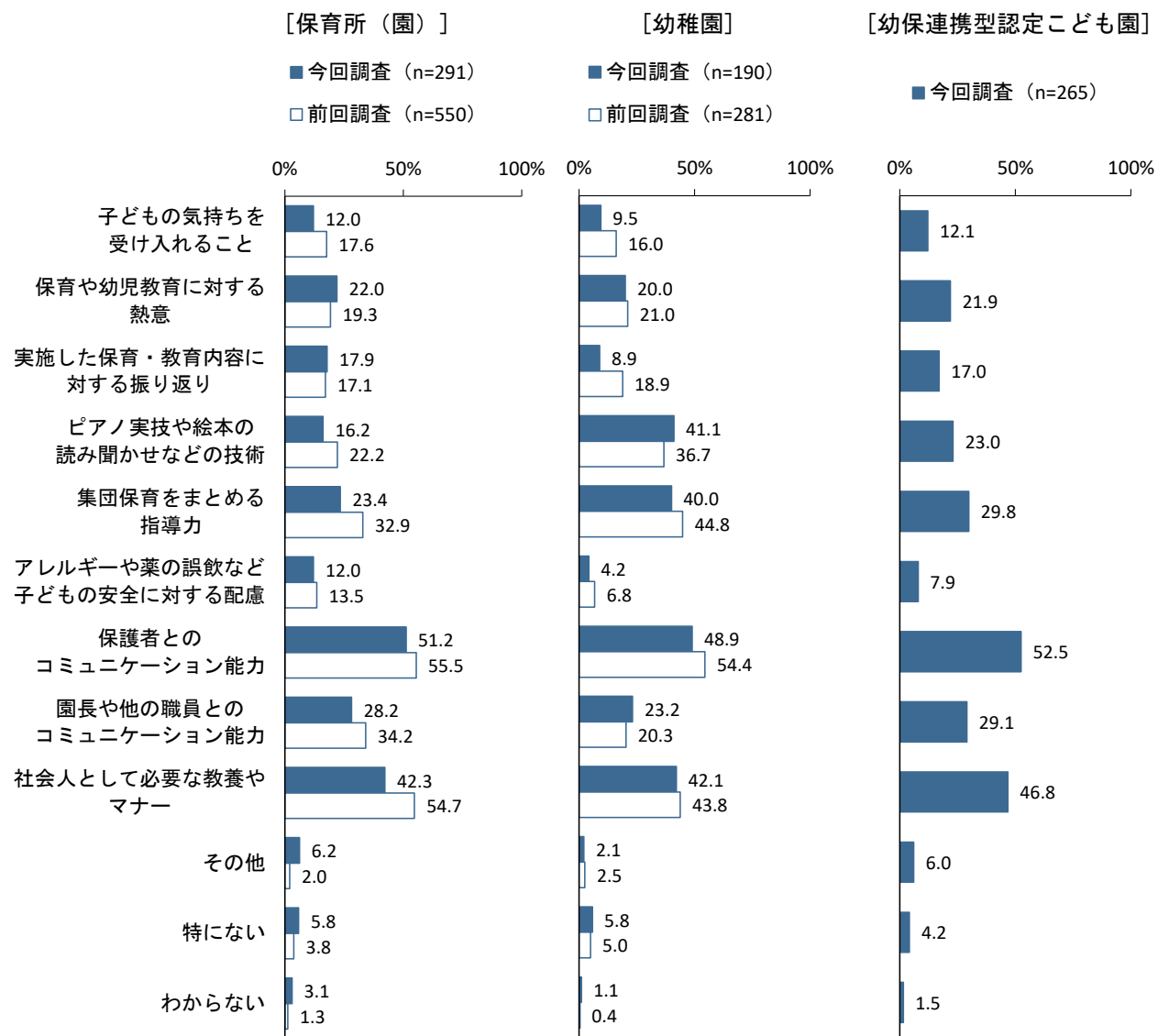
4-4. (保育士等確保調査) 人材確保の現状・離職防止の取り組み

④ 私立保育所・幼稚園・認定こども園における人材確保や離職防止の取り組み



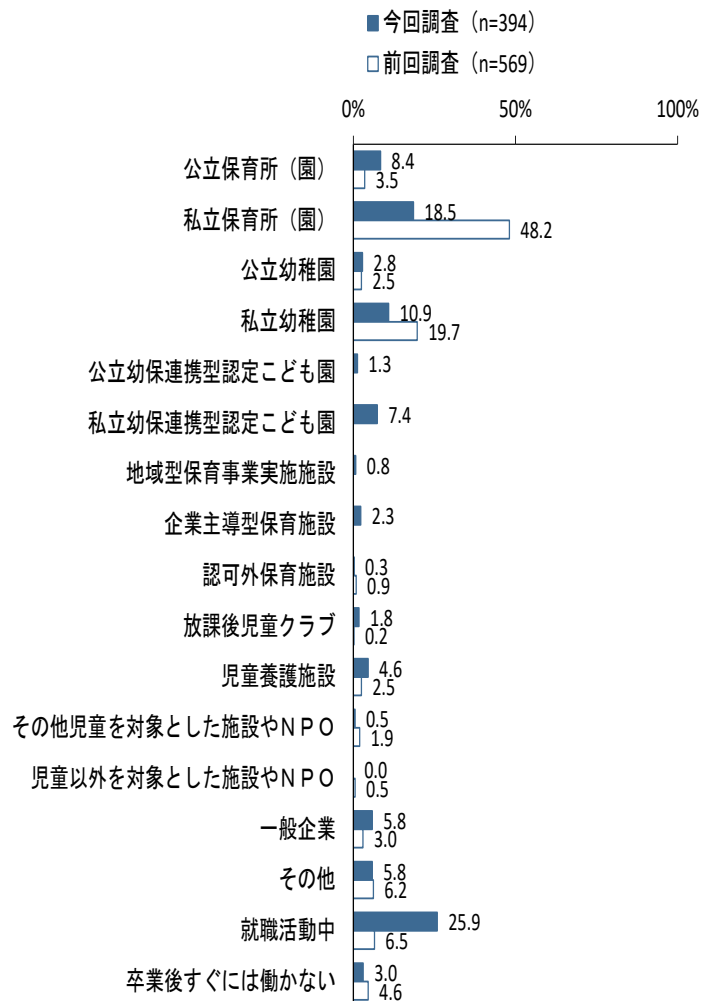
4-5. (保育士等確保調査) 施設から見た新卒者に不足していること

① 私立保育所・私立幼稚園が採用した新卒者に不足していると感じること (複数回答)

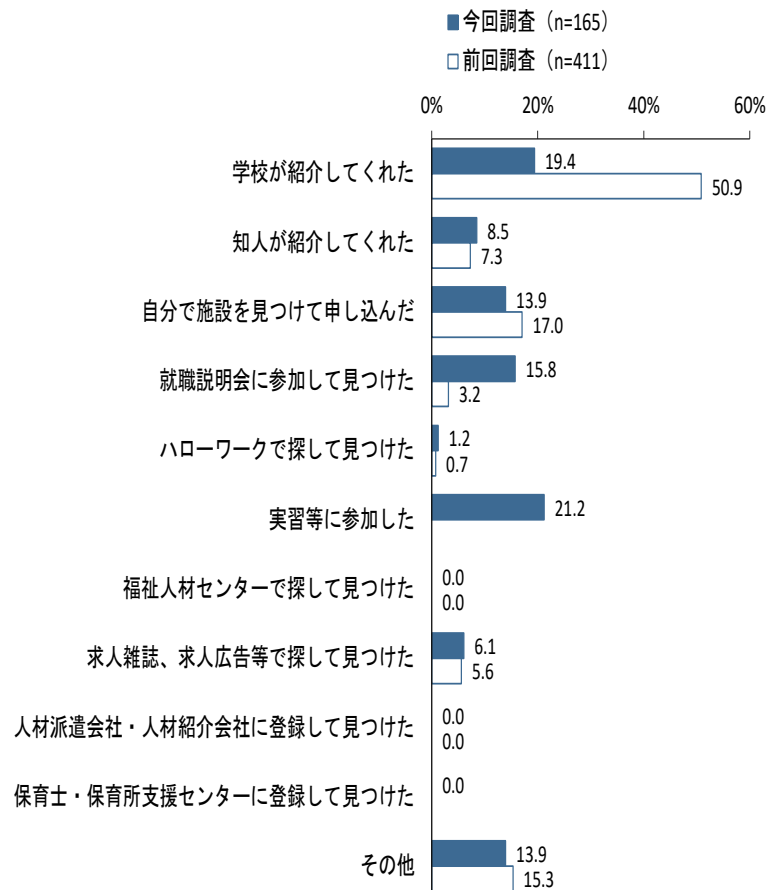


4-6. (保育士等確保調査) 新卒者の就職予定先

① 新卒者の就職予定先

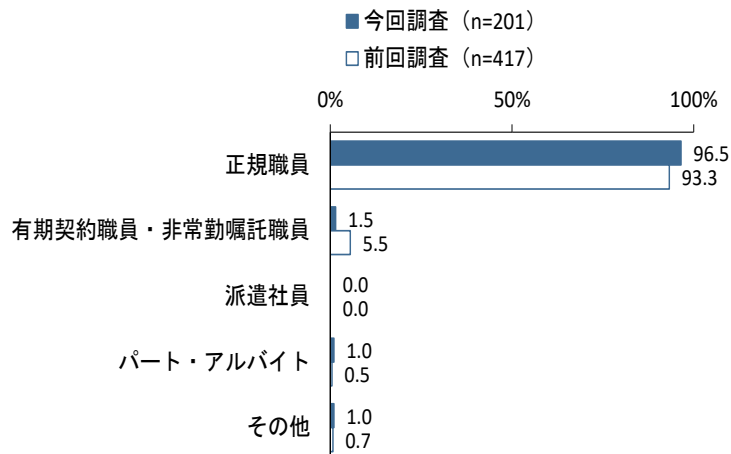


② 現在の就職予定先をどのように見つけたか？

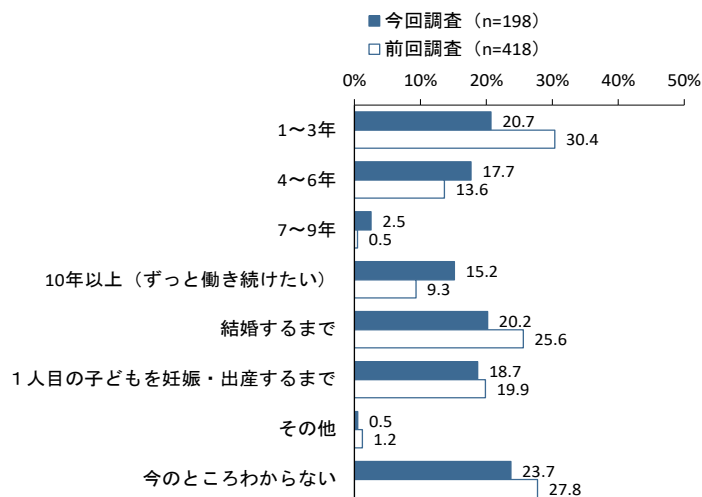


4-6. (保育士等確保調査) 新卒者の就職予定先

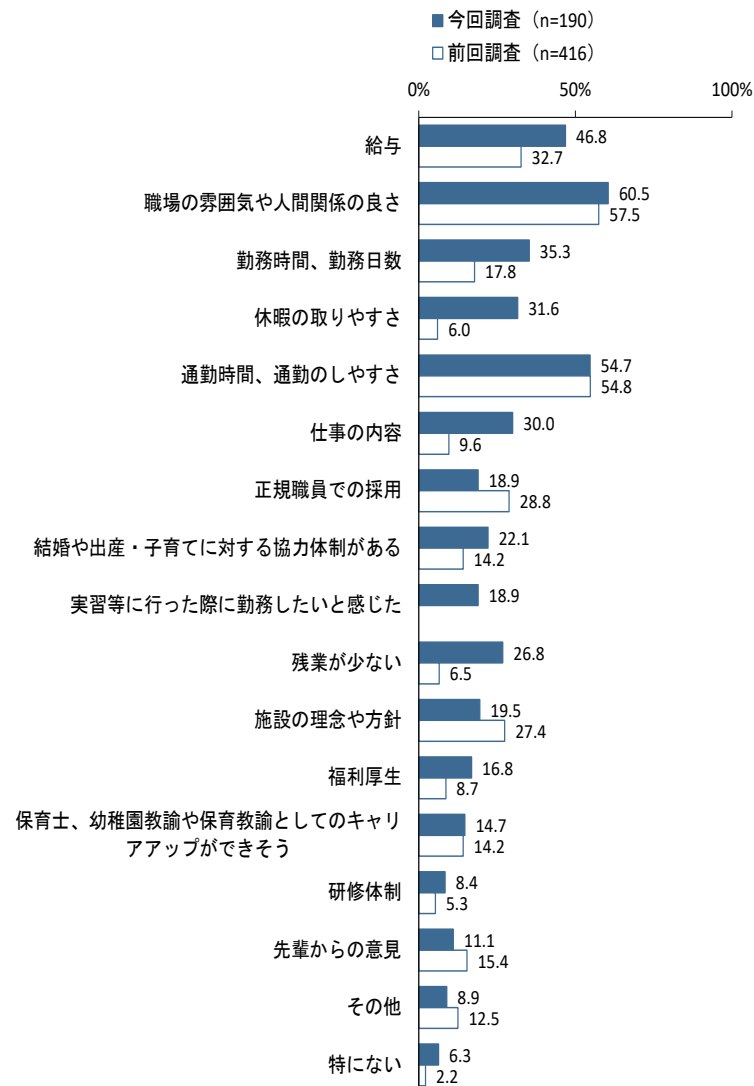
③ 就職予定先での雇用形態



④ 就職予定先での予定勤務期間 (複数回答)

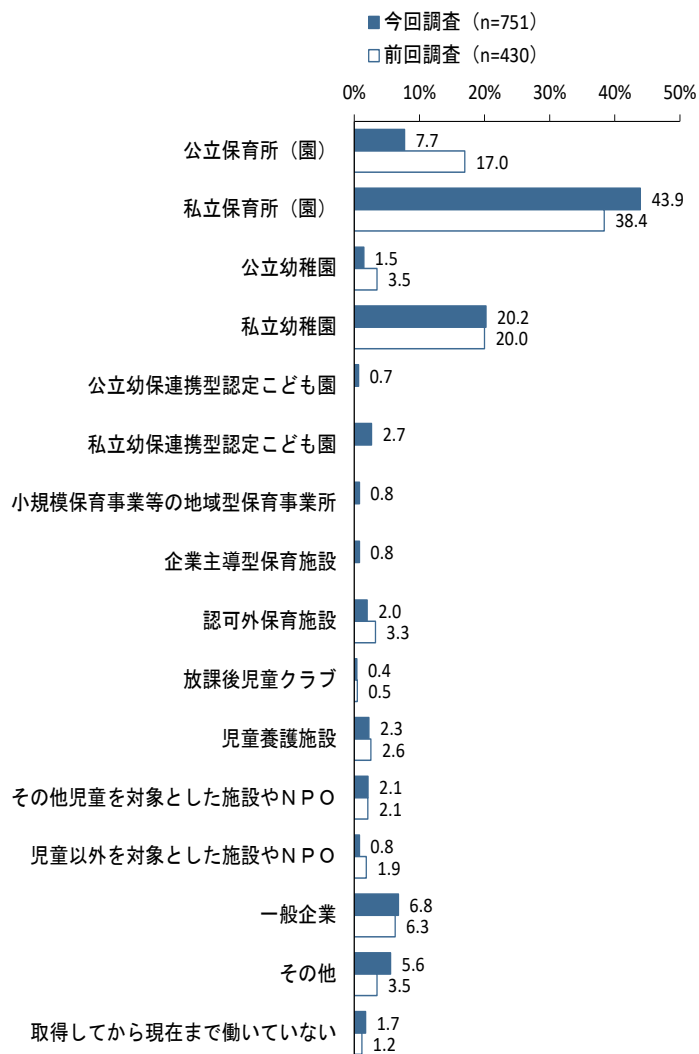


⑤ 現在の就職予定先を決めた理由

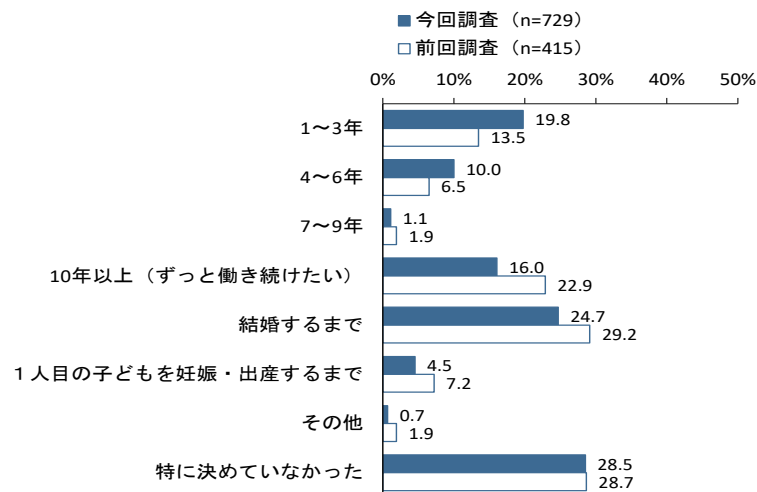


4-7. (保育士等確保調査) 有資格者の勤務期間

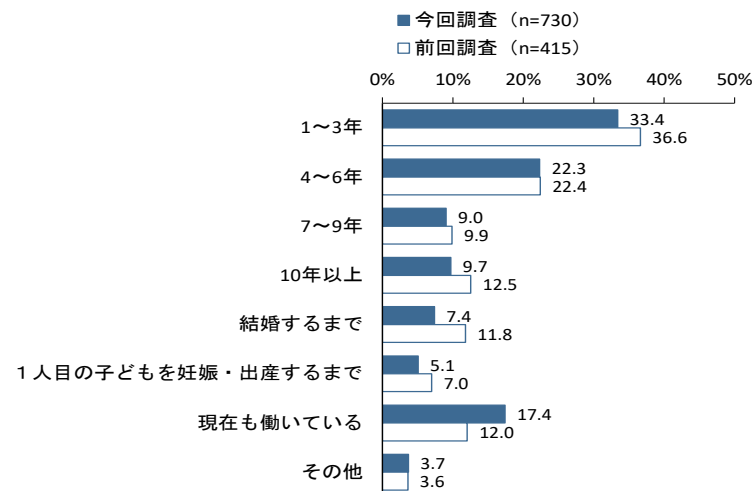
① 最初の就職先



② 最初の就職先での予定勤務期間 (複数回答)

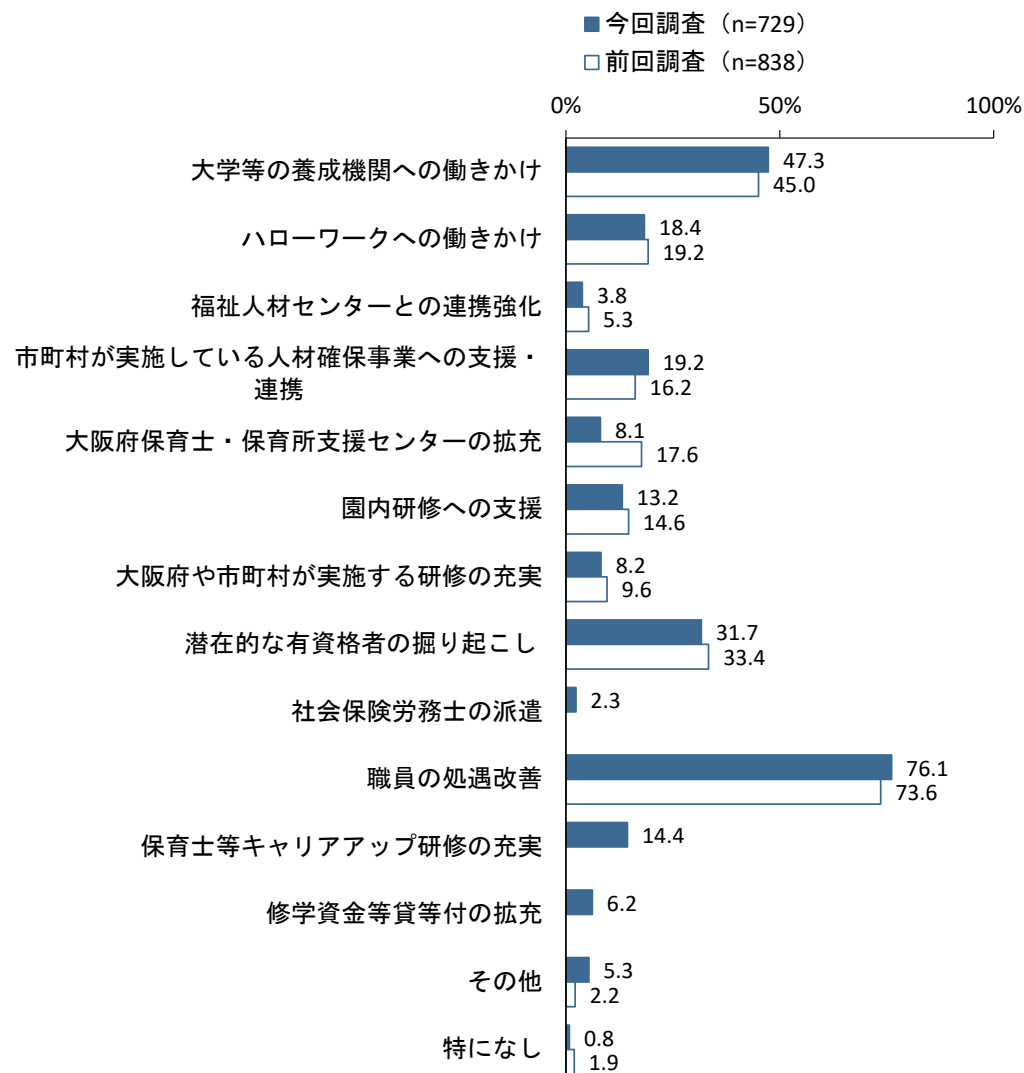


③ 最初の就職先での実際の勤務期間



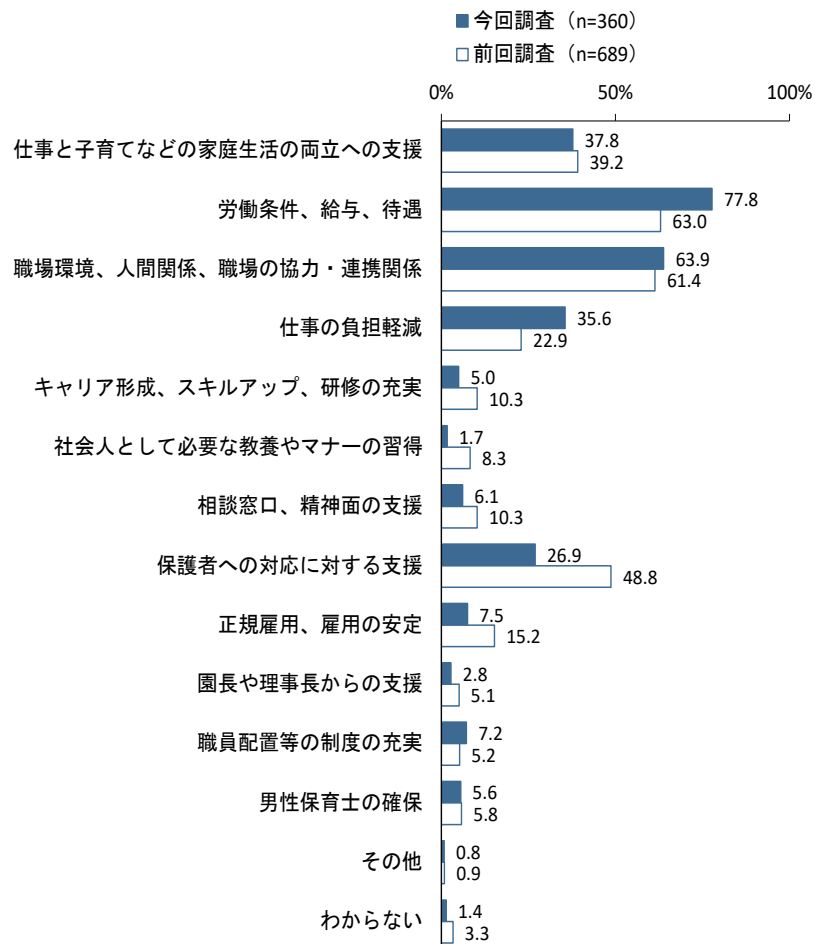
4-8. (保育士等確保調査) 保育所・幼稚園から大阪府に希望する支援

① 保育所・幼稚園から人材確保や離職防止のために大阪府に希望する支援 (複数回答)



4-9. (保育士等確保調査) 保育士等として働き続けるための支援

① 新卒者から見た働き続けるための支援 (複数回答)



② 潜在保育士から見た再就職のために必要な支援 (複数回答)

